

事業管理シート		R1 年度事業計画			
事業名	消防・救急体制の着実な整備 (常備消防)	事業コード	411-1	担当課名	防災安全課
				担当者名	濱地太郎
1. 事業概要	会計名	一般会計	科目名(目)		
施策名	災害に強いまちの確立			施策コード	411
戦略的視点の位置付	②V字回復戦略の波及を効果的にするために取り組む事業				
施策の貢献度	R1年	20%	R2年度	20%	
事業意図	町民、広域消防組合及び役場が一緒になって地域の安全を考え、行動し、安全で安心して暮らせる仕組みづくりを進め、地域における防災意識や防災行動力を高めます。				
事業内容 (R2年度)	・救急や火災等、緊急事案への即時対応及び対応力の強化 ・消防団に対する、春季・秋季の訓練指導等				
関連法規等					
個別計画 (計画期間)	南伊勢町地域強靱化計画(平成27年～概ね5年)				

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額	358,800	370,159			
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A	358,800	370,159			
経常的経費 B					
決算額					

3. R2 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押して更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計	370,159				
政策的経費 A					
政策的経費 B	0				
経常的経費 A	0				
経常的経費 B	370,159		14,100		356,059
新規事業(再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重要事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費(人件費、公債費、扶助費)、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値(実績値)	
	H30	R1	R2
成果			
町内における火災による死者数	0名	0名 (0名)	0名

5. R2 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること	
外部環境	<p>【機会】</p> <p>1.志摩広域消防組合と紀勢地区広域消防組合による常備消防が組織されている。 10.自主防災組織がある。</p> <p>【脅威】</p> <p>3.山林火災のおそれがある 5.6.7.8.9.11.12.15.16.地震・津波など大規模災害の発生が予想される。 13.観光客などが災害に遭遇するおそれがある。</p>
内部環境	<p>【強み】</p> <p>8.役場、地域、関係機関と連携している。 10.防災意識の向上を進めている。</p> <p>【弱み】</p> <p>5.地域ごとの要支援者の把握が十分ではない。 7.災害に備えた事前計画が十分でない。</p>

R2 年度に向けての当年度(R1)以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

- 【強み伸長】広域消防と、消防団のさらなる連携の充実が求められます。
- 10.【強み伸長】自主防災組織の防災意識や防災力の強化が必要になります。
- 5.【脅威打破】地域ごとに要支援者の把握と避難行動につながる対策を行う必要があります。

9. 来年度(R2)以降の事業意図と内容

【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。

6. R1 年度の事業成果 ……R1 年度末 記入欄

・広域消防組合と広域的な連携により取り組みをともに行えたことにより、自然災害や火災の際の消防組織の防災力・消火力が強化され、災害及び火災における対応が迅速にできた。(死者0名)火災予防や、防災意識が高揚した。
--

7. 当年度事業(R1)の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	②計画通り	死者数実績が0となり、目標を達成できた。
必要性	公的関与の必要性	① ①今後も必要	公助として備えるべき性質の事業であるため、役場が関与することが必要。
	役割分担の適切性	① ①今後も適切	常備消防の広域消防への委託により、町単独では備えられない消防体制を構築することができており、役割分担は適切である。
効率性	業務・サービスの改善結果	③変わらない	<input type="checkbox"/> 迅速化 <input type="checkbox"/> 平準化 <input type="checkbox"/> 低コスト化 <input type="checkbox"/> 標準化 <input type="checkbox"/> 外部委託化 <input type="checkbox"/> IT・AI化 <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 能力向上 <input type="checkbox"/> その他 火災への対応が迅速にでき、死者が出なかった。
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後も適切	<input type="checkbox"/> 部署連携 <input type="checkbox"/> 官民連携 <input type="checkbox"/> 広域連携 <input type="checkbox"/> 事業連携 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> その他 消防が適切に機能していることを測る上で、被害の度合いを見る指標として死者数を把握することは妥当である。

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input type="checkbox"/> 改革 <input checked="" type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
説明	<input type="checkbox"/> 維持継続 地区ごとの要支援者の把握を関係課の協力のもと行い、広域消防組合と情報共有を行うことで、さらなる防災力の強化を行います。	

事業名：消防・救急体制の着実な整備（常備消防）

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
常備消防事業	成果指標	町内における火災による死者数	0	0			・広域消防組合と広域的な連携により取り組みをともに行えたことにより、自然災害や火災の際の消防組織の防災力・消防力が強化され、災害及び火災における対応が迅速にできた。（死者0名）火災予防や、防災意識が高揚した。	・志摩広域消防組合 南勢地区担当 ・紀勢地区広域消防組合 南島地区担当	② ②継続
	活動指標	負担金の支払い回数	10	10					
	成果指標								②継続
	活動指標								未選択
	成果指標								未選択
	活動指標								未選択
	成果指標								未選択
	活動指標								未選択
				合計					

事業管理シート

R1 年度事業計画

事業名	消防・救急体制の着実な整備 (非常備消防)	事業コード	411-1	担当課名	防災安全課
				担当者名	濱地太郎
1. 事業概要	会計名	一般会計	科目名(目)		
施策名	災害に強いまちの確立			施策コード	411
戦略的視点の位置付	②V字回復戦略の波及を効果的にするために取り組む事業				
施策の貢献度	R1年	20%	R2年度	20%	
事業意図	町民、広域消防組合及び役場が一緒になって地域の安全を考え、行動し、安全で安心して暮らせる仕組みづくりを進め、地域における防災意識や防災行動力を高めます。				
事業内容 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> 消防団の、春季・秋季の訓練参加等による救急や火災等、緊急事案への即時対応及び対応力の強化。 火災発生時に消防団による消火活動を行います。 年末年始の夜間警戒、春・秋の火災予防期間中に防火パレードを行います。 				
関連法規等					
個別計画 (計画期間)	南伊勢町地域強靱化計画(平成27年～概ね5年) 南伊勢町地域防災計画(平成27年～概ね5年)				

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額	29,050	29,380			
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B	29,050	29,380			
決算額					

3. R2 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押して更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計	29,380				
政策的経費 A					
政策的経費 B	0				
経常的経費 A	0				
経常的経費 B	29,380			21,480	7,900
新規事業(再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重要事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費(人件費、公債費、扶助費)、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値(実績値)		
	H30	R1	R2	
成果	町内における火災による死者数	0名	0名	0名

5. R2 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること	
外部環境	<p>【機会】</p> <p>1.志摩広域消防組合と紀勢地区広域消防組合による常備消防が組織されている。</p> <p>10.自主防災組織がある。</p> <p>【脅威】</p> <p>3.山林火災のおそれがある</p> <p>4.19.風水害の発生が予想される。</p>
内部環境	<p>【強み】</p> <p>1.南伊勢町消防団による非常備消防が組織されている。</p> <p>8.役場、地域、関係機関と連携している。</p> <p>10.防災意識の向上を進めている。</p> <p>【弱み】</p> <p>3.山が家屋に近く、密集しているため、緊急車両が進入しにくい。</p> <p>4.19.風水害に対する備えが十分でない</p>

R2 年度に向けての当年度(R1)以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

1.【強み伸長】広域消防と、消防団のさらなる連携の充実が求められます。
4.【脅威打破】風水害による被害を最小限に抑えるため、水防資機材の充実が必要となります。

9. 来年度(R2)以降の事業意図と内容

【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。
・消防団員への訓練及び関連知識の習得による対応力の向上
・関連機関とのスムーズな連携を行えるよう日常から情報収集・整理に努める

・・・R1 年度末 記入欄

6. R2 年度の事業成果

<ul style="list-style-type: none"> ・春季訓練及び秋季訓練の実施 ・火災4件、行方不明者捜索1件の出動・対応を行った ・年末警戒、火災予防期間における警戒の実施 ・火災予防期間における防火パレードの実施 <p>町内における火災による死者数0件</p>
--

7. 当年度事業(R1)の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	②計画通り	火災による死亡者は0件で、目標通りとなった
必要性	公的関与の必要性	① ①今後も必要	消防団の存在は役場が関与する公助の中でも中核となるもので、今後も維持運営が必要である。
	役割分担の適切性	① ①今後も適切	常備消防ではカバーしきれない部分を消防団が補うとともに連携することで効果的な消防体制が構築できている。
効率性	業務・サービスの改善結果	③変わらない	<input type="checkbox"/> 迅速化 <input type="checkbox"/> 平準化 <input type="checkbox"/> 低コスト化 <input type="checkbox"/> 標準化 <input type="checkbox"/> 外部委託化 <input type="checkbox"/> IT・AI化 <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 能力向上 <input type="checkbox"/> その他 一定数の新入団員を確保しており、現時点において活動力に支障はない。訓練等を通じて対応力の維持を図っている。
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後も適切	<input type="checkbox"/> 部署連携 <input type="checkbox"/> 官民連携 <input type="checkbox"/> 広域連携 <input type="checkbox"/> 事業連携 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> その他 非常備消防事業の意図は火災等の被害を軽減・なくすことであり、消防団が機能していることを示すものとして火災による死者数を把握することは妥当である。

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input type="checkbox"/> 改革 <input checked="" type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与と低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
<input type="checkbox"/> 維持継続		
説明	消防団員数を適正化し、実働団員数の向上を目指すとともに、部・班単位での行動ではなく、分団単位での行動をするように意識付けしていきます。	

事業名：消防・救急体制の着実な整備（非常備消防）

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R2の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
非常備消防事業	成果指標	町内における火災による死者数					・春季訓練及び秋季訓練の実施 ・火災4件、行方不明者捜索1件の出動・対応を行った ・年末警戒、火災予防期間における警戒の実施 ・火災予防期間における防火パレードの実施 町内における火災による死者数0件	・消防団 広域消防と連携し火災等現場対応 ・広域消防 火災等現場対応における団との連携	②継続
	活動指標								
	成果指標								②継続
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
				合計					

事業管理シート		R1 年度事業計画			
事業名	消防・救急体制の着実な整備 (消防施設費)	事業 コード	441-1	担当課名	防災安全課
				担当者名	濱地太郎
1. 事業概要		会計名	一般会計	科目名(目)	消防施設費
施策名	災害に強いまちの確立			施策コード	411
戦略的視点の位置づけ	②V字回復戦略の波及を効果的にするために取り組む事業				
施策の貢献度	R1年	20%	R2年度	20%	
事業意図	町民、広域消防組合及び役場が一緒になって地域の安全を考え、行動し、安全で安心して暮らせる仕組みづくりを進め、地域における防災意識や防災行動力を高めます。				
事業内容 (R1年度)	・小型動力ポンプ付き積載車の更新を行います。 ・消防団詰所の新築を行います。				
関連法規等					
個別計画 (計画期間)	南伊勢町地域強靱化計画(平成27年～概ね5年) 南伊勢町地域防災計画(平成27年～概ね5年)				

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額	22,428	33,495			
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B	22,428	33,495			
決算額					

3. R2 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押して更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計	33,495				
政策的経費 A					
政策的経費 B	0				
経常的経費 A	0				
経常的経費 B	33,495		26,100	2,028	5,367
新規事業(再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重要事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費(人件費、公債費、扶助費)、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値(実績値)	
	R1	R2	R3
成果	0件	0件	0件
小型動力ポンプ付き積載車整備不良による出動できなかった件数			

5. R2 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること	
外部環境	<p>【機会】</p> <p>1.志摩広域消防組合と紀勢地区広域消防組合による常備消防が組織されている。</p> <p>【脅威】</p> <p>3.山林火災のおそれがある 4.19.風水害の発生が予想される。 23.施設更新の費用負担が高い。</p>
内部環境	<p>【強み】</p> <p>1.南伊勢町消防団による非常備消防が組織されている。 8.役場、地域、関係機関と連携している。 10.防災意識の向上を進めている。</p> <p>【弱み】</p> <p>3.山が家屋に近く、密集しているため、緊急車両が進入しにくい。 4.19.風水害に対する備えが十分でない</p>

R2 年度に向けての当年度(R1)以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

1.【強み伸長】広域消防と、消防団のさらなる連携の充実が求められます。
4.【脅威回避】風水害による被害を最小限に抑えるため、水防資機材の充実が必要となります。
4.【脅威回避】津波浸水予想区域にある公共施設の計画的な高台移転が求められています。

9. 来年度(R3)以降の事業意図と内容

【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。
【改善】老朽化したものを更新することで支障ない活動に繋げていく
【改革】詰所・ポンプ庫等を高台移転することにより南海トラフ大地震等の被害を抑え、消防機能の喪失を防ぐ
【革新】更新に合わせて新型装備・設備を導入することで活動能力の向上及び安全な活動に繋げていく

6. R1 年度の事業成果

<ul style="list-style-type: none"> 五ヶ所浦 消防団車庫の新築及び高台移転を行った 小方竈及び中津浜浦の小型動力ポンプ付き積載車を更新した 以上のことにより消防団の出動体制の維持及び向上を図った。

7. 当年度事業(R1)の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	②計画通り	計画通り更新を行った
必要性	公的関与の必要性	① ①今後も必要	消防団及びその機能の確保は、公助の領域となるため、役場が関与する必要がある。
	役割分担の適切性	① ①今後も適切	公助の領域であることと、更新にかかる費用の大きさから役場が実施する必要があり、本事業において役場が果たす役割は必須である。
効率性	業務・サービスの改善結果	②やや効率化できた	<input type="checkbox"/> 迅速化 <input type="checkbox"/> 平準化 <input type="checkbox"/> 低コスト化 <input type="checkbox"/> 標準化 <input type="checkbox"/> 外部委託化 <input type="checkbox"/> IT・AI化 <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 能力向上 <input type="checkbox"/> その他 従前の施設・設備からの更新となるため、基本的な機能及び能力に変化はないものの、老朽化などによる運用性低下に一定の歯止めをかけたことにより改善につながった。
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後も適切	<input type="checkbox"/> 部署連携 <input type="checkbox"/> 官民連携 <input type="checkbox"/> 広域連携 <input type="checkbox"/> 事業連携 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> その他 本事業の目的は消防団の活動能力の維持及び向上であり、指標として設備事由による出動不可件数を把握することは妥当である。

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input type="checkbox"/> 改革 <input checked="" type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
<input type="checkbox"/> 維持継続		
説明	老朽化した施設を、地元区、地元消防団の意見を盛り込みながら、新たな施設に建て替えるとともに、津波被害に遭わないように、高台移転を行います。	

事業名：消防・救急体制の着実な整備（消防施設費）

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
消防施設・車両更新	成果指標	小型動力ポンプ付き積載車整備不良による出動できなかった件数	0	0			・五ヶ所浦 消防団車庫の新築及び高台移転を行った ・小方竈及び中津浜浦の小型動力ポンプ付き積載車を更新した 以上のことにより消防団の出動体制の維持及び向上を図った。 適時、新型装備・設備を検討し、更新時に取り入れていくことで消防団の能力向上を図る。	・消防団 運用の実施等 ・区 施設建設地の調整等 ・広域消防団との連携	②継続
	活動指標	詰所・団庫新築件数 小型ポンプ付き積載車更新台数	1棟 2台	1棟 2台					
	成果指標								②継続
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
				合計					

事業名	消防・救急体制の着実な整備 (水防)	事業 コード	411-2	担当課名	防災安全課
				担当者名	濱地太郎
1. 事業概要	会計名	一般会計	科目名(目)		
施策名	災害に強いまちの確立			施策コード	411
戦略的視点の位置付	②V字回復戦略の波及を効果的にするために取り組む事業				
施策の貢献度	R1 年	20%	R2 年度	20%	
事業意図	町民、広域消防組合及び役場が一緒になって地域の安全を考え、行動し、安全で安心して暮らせる仕組みづくりを進め、地域における防災意識や防災行動力を高めます。				
事業内容 (R2 年度)	<ul style="list-style-type: none"> 土のう袋及び砂の整備を行い、必要とされる各分団、各部、各班に提供していく。 油吸着マットの整備を行なう。 				
関連法規等					
個別計画 (計画期間)	南伊勢町地域強靱化計画(平成27年～概ね5年) 南伊勢町地域防災計画(平成27年～概ね5年)				

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額	186	169			
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B	186	169			
決算額					

3. R2 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押して更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計	169				
政策的経費 A					
政策的経費 B	0				
経常的経費 A	0				
経常的経費 B	169				169
新規事業(再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重要事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費(人件費、公債費、扶助費)、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値(実績値)		
	H30	R1	R2	
成果	水害による死者数	0名	0名 (0名)	0名

5. R2 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること	
外部環境	<p>【機会】</p> <p>1.志摩広域消防組合と紀勢地区広域消防組合による常備消防が組織されている。</p> <p>【脅威】</p> <p>4.19.風水害の発生が予想される。 5.6.7.8.9.11.12.15.16.地震・津波など大規模災害の発生が予想される。</p>
内部環境	<p>【強み】</p> <p>1.南伊勢町消防団による非常備消防が組織されている。 8.役場、地域、関係機関と連携している。</p> <p>【弱み】</p> <p>4.19.風水害に対する備えが十分でない。 15.町の施設が津波浸水区域内にある。</p>

R2 年度に向けての当年度(R1)以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

1.【強み伸長】広域消防と、消防団のさらなる連携の充実が求められます。
4.【脅威回避】風水害による被害を最小限に抑えるため、水防資機材の充実が必要となります。

9. 来年度(R3)以降の事業意図と内容

【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。
<ul style="list-style-type: none"> 適時、耐性の高い土のう袋を購入する 風水害対策資機材の確保 砂置き場の確保

6. R1 年度の事業成果

<ul style="list-style-type: none"> 土のう袋を予定数購入し、台風前等に必要数を団へ引き渡した。 土のう袋に使う砂を適時購入し配備した

7. 当年度事業(R1)の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	②計画通り	水害による死者数は目標通り0名であった。
必要性	公的関与の必要性	① ①今後も必要	水害は状況が流動的であるため、役場として土のう袋を常備しておくことが必要
	役割分担の適切性	① ①今後も適切	土のう袋使用は消防団に依頼しているが、町内の広さを加味すると消防団との連携・協力は不可欠で適切に役割分担を行っている。
効率性	業務・サービスの改善結果	③変わらない	<input type="checkbox"/> 迅速化 <input type="checkbox"/> 平準化 <input type="checkbox"/> 低コスト化 <input type="checkbox"/> 標準化 <input type="checkbox"/> 外部委託化 <input type="checkbox"/> IT・AI化 <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 能力向上 <input type="checkbox"/> その他 水害が懸念されるときに適時に土のう袋等を団に供給し、水害の被害低減に寄与した
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後も適切	<input type="checkbox"/> 部署連携 <input type="checkbox"/> 官民連携 <input type="checkbox"/> 広域連携 <input type="checkbox"/> 事業連携 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> その他 水防事業の意図は水害の被害を軽減・なくすことであり、対策が機能していることを示すものとして水害による死者数を把握することは妥当である。

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input type="checkbox"/> 改革 <input checked="" type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
説明	<input type="checkbox"/> 維持継続 5 年程度の耐久性がある土嚢袋を定期的に購入し、台風等事前に予測が可能な災害前には、各部・班にそれぞれ注意喚起を行うとともに、土嚢用の砂を購入し準備するよう促していきます。	

事業名：消防・救急体制の着実な整備（水防）

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R2の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
	成果指標	水害による死者数	0	0			・土のう袋を予定数購入し、台風前等に必要数を団へ引き渡した。 ・土のう袋に使う砂を適時購入し配備した ・適時、耐候性の高い土のう袋を購入する ・風水害対策資機材の確保 ・砂置き場の確保	・消防団 土のう袋の配置 ・広域消防及び区 団との連携	②継続
	活動指標	土のう袋購入枚数	1000	1000					
	成果指標								②継続
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
				合計					

事業管理シート		R1 年度事業計画			
事業名	災害に強いまちの確立	事業コード	411-2	担当課名	建設課
				担当者名	荘司文人
1. 事業概要	会計名	一般会計	科目名(目)	地籍調査費	
施策名	地震・津波などに備える体制の整備促進			施策コード	411
戦略力以外の位置づけ	未選択				
施策の貢献度	H30 年	65%	R1 年度	65%	
事業意図	南海トラフ巨大地震など被災後の迅速な復旧・復興に活用できるよう、津波浸水想定地域内の土地境界情報の整備に取り組みます。				
事業内容 (R1 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・中津浜浦地区の国の認証取得 ・五ヶ所浦①地区の閲覧実施。 ・船越①地区の一筆地調査及び一筆地測量実施。 				
関連法規等					
個別計画 (計画期間)					

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額	17,858				
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
決算額	15,340				

3. R1 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押して更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
新規事業 (再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V 字回復戦略最重要事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費（人件費、公債費、扶助費）、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値 (実績値)	
	H30	R1	R2
成果			
中津浜浦地区の進捗率	80%	100%	100%
五ヶ所浦①の進捗率	50%	80%	100%
船越①の進捗率		50%	80%

5. R1 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること	
外部環境	<p>【機会】 国土調査促進特別措置法に基づき国土調査事業十箇年計画が策定されている。第 7 次十箇年計画(R2～11 年度)</p> <p>【脅威】 地震による津波などで、被災後の境界明示に時間を要し、復興に支障をきたすおそれがあります。</p>
内部環境	<p>【強み】 地籍調査事業を実施すれば ①土地トラブル防止に役立つ ②土地取引の円滑化に役立つ ③街づくりに役立つ ④公共事業の円滑化に役立つ ⑤災害の復旧に役立つ</p> <p>【弱み】 津波浸水想定地域の土地境界が未整備の箇所がある。</p>

R1 年度に向けての当年度 (H30) 以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

--

9. 来年度 (R2) 以降の事業意図と内容

[改善][改革][革新]の別に記載すること。

6. R1 年度の事業成果

<ul style="list-style-type: none"> ・中津浜浦地区の国の認証取得 ・五ヶ所浦①地区の閲覧実施。 ・船越①地区の一筆地調査及び一筆地測量実施。
--

7. 当年度事業 (R1) の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	②計画通り	中津浜浦地区の認証 R1.11.19 五ヶ所浦①地区の閲覧率 94%で国に認証請求をした。
必要性	公的関与の必要性	①今後も必要	
	役割分担の適切性	①今後も適切	法務局との協議を事前に行い、また地元区の理解が得られたため事業がスムーズに実施出来た。
効率性	業務・サービスの改善結果	①効率化できた	■迅速化 □平準化 ■低コスト化 □標準化 □外部委託化 □IT・AI 化 □民間活用 □能力向上 □その他 地籍調査の実施に当たり、統合保育園の用地測量と合わせて実施したので、コスト削減ができた。
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後も適切	■部署連携 □官民連携 □広域連携 ■事業連携 □サービス向上 □その他

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input type="checkbox"/> 改革 <input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input checked="" type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
<input checked="" type="checkbox"/> 維持継続		
説明	南海トラフ巨大地震など被災後の迅速な復旧・復興に活用できるよう、津波浸水想定地域内の土地境界情報の整備に取り組みます。	

事業名：災害に強いまちの確立

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
地籍調査事業	成果指標	五ヶ所浦①地区の進捗率	80%	80%	17,858	15,340	【当年度の事業成果】 五ヶ所浦①地区の閲覧、工程検査の実施、船越①地区の一筆地調査の実施を行う。 【今後の改善の方向性】	立会い、閲覧等における 地権者の協力。	②継続
	活動指標	-	-	-					
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
			合計		17,858	15,340			

事業管理シート R1 年度事業計画

事業名	地震・津波などに備える体制の整備促進	事業コード	411-2	担当	濱地 智視
				担当	田中、宮本、濱地(太)
1. 事業概要	会計名	一般会計	科目名(目)	災害対策費	
施策名	災害に強いまちの確立			施策コード	411
戦略的取組の位置づけ	③V字回復戦略を下支えるために取り組む事業				
施策の貢献度	R1年	20%	R2年度	20%	
事業意図	全ての町民が、地震、津波、風水害や火災などの災害から身を守り、安全で安心して暮らせるまちにします。				
事業内容 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> 木造住宅耐震化(診断/耐震設計/耐震工事/除却) 備蓄物資の入替 二次避難所の設備/資機材整備 一次避難場所修繕/整備 各地区災害対応マニュアルの改訂 二次避難所運営マニュアルの策定 防災訓練実施 地域連携棟建設 津波避難タワー建設 自主防災組織活性化 ブロック塀/危険木除却補助 				
関連法規等	災害対策基本法ほか、災害対応関係法規				
個別計画 (計画期間)	南伊勢町地域防災計画				

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
決算額					

3. R2 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押して更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計					
政策的経費 A					
政策的経費 B	0				
経常的経費 A	0				
経常的経費 B					
新規事業 (再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重要事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費 (人件費、公債費、扶助費)、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値 (実績値)		
	H31	R1	R2	
成果	防災訓練参加率	34.1%	43% (34.9%)	48%

5. R2 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること		
外部環境	【機会】 <ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織がある 防災講演会がある 三重県版タイムライン、受援計画がある 	【脅威】 <ul style="list-style-type: none"> 風水害の発生が予想される 地震/津波など大規模災害の発生が予想される 観光客などが災害に遭遇するおそれがある 災害による被害が多様化している 災害発生時には役場機能が停止するおそれがある
内部環境	【強み】 <ul style="list-style-type: none"> 役場/地域/関連機関が連携している 避難道/一次避難場所の整備を行っている 防災意識の向上を進めている 避難対策の指導を行っている 災害時応援協定を締結している 各地域で備蓄品の確保を行っている 重要なデータを外部保管している 	【弱み】 <ul style="list-style-type: none"> 風水害に対する備え 地域ごとの要支援者の把握 津波浸水想定地域の土地境界が未整備のところがある 災害に備えた事前計画 通学路の避難経路確保 町外者へのかりやすい避難案内 町施設が津波浸水区域内にある 避難道間の連絡道の整備 災害時の支援受け入れ態勢 役場機能の早期回復 災害時の情報伝達

R2 年度に向けての当年度 (R1) 以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

【強み伸長】 <ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織の防災意識向上や防災力強化 各地域備蓄品確保、防災講演会充実を通じてさらなる防災意識の向上
【脅威打破】 <ul style="list-style-type: none"> 南海トラフ地震に備え、役場/地域/町民/関係機関の連携強化 家屋の耐震化促進、避難道/一次避難場所の整備 福祉施設に対する避難対策の指導 災害被害の多様化に対応できる災害時応援協定等の追加
【弱み克服】 <ul style="list-style-type: none"> 【脅威回避】 地域ごとの要支援者の把握と避難行動に繋がる対策 発災直後から利用できる復旧/復興にかかる計画の策定 登下校/通園時の避難経路確保 漁業者や観光客が素早く避難できる仕組みづくり 津波浸水想定区域内の公共施設の高台移転 避難困難者対策及び一次避難場所から二次避難場所への連絡道整備

9. 来年度 (R3) 以降の事業意図と内容

【改善】 なんでも役場がするのではなく、地域との連携・協働を強化し、防災を地域の文化として住民ベースで自主的に回る体制を構築に向け、適切な補助・支援対象者、事業対象を見直していく。 また、類似事業などの連携・統合を検討し、効率的な事業実施となるように配慮する。

6. R1 年度の事業成果

事業成果	…R1 年度末 記入欄
<ul style="list-style-type: none"> 木造住宅耐震化(診断/耐震設計/耐震工事/除却)により住居と避難道の安全確保をした 備蓄物資の入替により災害時の物資を確保した 二次避難所の設備/資機材整備では備蓄倉庫及び簡易ベッドを整備し、避難所機能を向上した 一次避難場所修繕/整備として自主防災資機材整備補助金により補助を行った 各地区災害対応マニュアルの改訂 二次避難所運営マニュアルの策定 防災訓練実施 地域連携棟建設 津波避難タワー建設 自主防災組織活性化 ブロック塀/危険木除却補助 	

7. 当年度事業 (R1) の総合評価

事業の成果	評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況 ③やや下回っている	目標には到達していないが、昨年度より防災訓練参加率が向上しているため。
必要性	公的関与の必要性	① ①今後とも必要
	役割分担の適切性	② ②今後要見直し
効率性	業務・サービスの改善結果 ③変わらない	<input type="checkbox"/> 迅速化 <input type="checkbox"/> 平準化 <input type="checkbox"/> 低コスト化 <input type="checkbox"/> 標準化 <input type="checkbox"/> 外部委託化 <input type="checkbox"/> IT・AI 化 <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 能力向上 <input type="checkbox"/> その他 特に有意な変化が見られなかった。 今後は効率的な事務となるように適時見直ししていく。
有効性	指標や取り組みの妥当性 ②不適切又は今後要改善	<input type="checkbox"/> 部署連携 <input type="checkbox"/> 官民連携 <input type="checkbox"/> 広域連携 <input type="checkbox"/> 事業連携 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> その他 防災訓練参加率を指標とすることは差し支えないものの、数値的目標値の設定が高すぎるため、目標値増加幅を見直すことが必要。

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input type="checkbox"/> 改革 <input checked="" type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input checked="" type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
説明	<input checked="" type="checkbox"/> 維持継続	災害対策には明確なゴールが存在しないのが実情ですが、現在行っている各細事業を切れ目なく継続し、地域・行政共に災害対応力の向上を継続していきます。 なお、受援計画等、県レベルで整備されたものと連携をとる形で各種計画の策定を行うとともに、町の災害対策の基本となる地域防災計画を実情及び現況に即したものと見直しを進めます。

事業名：地域づくり支援事業の充実

10. 事業を構成する細事業内容

■6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
1. 木造住宅耐震化関係補助金	成果指標	関係補助制度の実施件数	耐震診断30件 除却25件(当初20件) 設計・工事3件	耐震診断30件 除却25件 設計・工事1件	当初 17,543	17,783	診断及び除却は目標件数を達成した。 設計・工事は申請者・相談者の費用が見合わず実施をとりやめたため各1件となった。 除却においては、待ち件数が多く、県及び国と連携し、実施件数を増やしていく。 住民に対する制度周知においては、町内に空き家を有する町外在住者からの相談も多いことを加味し、HPに特設ページを作成し、問い合わせ前に概要を確認できるようにした。 防災講演会等にあわせて制度周知の説明会を予定していたが、新型コロナウイルス流行に伴い実施機会がなくなってしまった。	・木造住宅耐震速促進協議会 診断の実施・申請者への説明	②継続
	活動指標	住民に対する制度周知	広報誌への掲載1回 特設コーナーの設置または説明会をいずれか1回	広報誌への掲載1回 説明会及びコーナー設置は新型コロナウイルスのため中止 HPに特設ページを作成した	補正 17,783				
2. 自主防災資機材整備補助金	成果指標	補助実施件数	13件	23件	当初 7,500	4,191	当初の見込み件数より多く補助を実施した。 避難道整備の件数・規模が当初の見込みより少なかったため、予算の減額補正を行った。 各地区で積極的に活用してもらえるように継続して周知に努める。	区・区長 区内の要望や申請事項の取りまとめ	②継続
	活動指標	区に対する制度周知	区長会で案内1回	区長会において1回案内した	補正 4,791				
3. ブロック塀除却補助金	成果指標	補助実施件数	5件	6件	当初 500	463	満額補助4件、満額未満の補助が2件となり、件数としては当初の見込みより1件多く実施することができた。 今後も継続して制度周知を行い、利用促進していく。	申請者 所有ブロック塀による周囲への危険を補助金を活用して取り除く	②継続
	活動指標	住民に対する制度周知	広報誌への掲載1回	広報誌への掲載1回	補正 なし				
4. 危険木伐採補助金	成果指標	補助実施件数	4件	9件	当初 800	1,469	要望が多く、当初の見込み件数より多くの件数を実施した。（補正有） 町内には危険と表現できなくはない雑木等は多数存在しているのが実情で、続々と事例が出てきている。このことから、今後件数がさらに増えるようであれば案件ごとに優先順位を考慮する必要があると思われる。	区・区長 区内の要望や申請事項の取りまとめ	②継続
	活動指標	区に対する制度周知	区長会で案内1回	区長会で案内1回	補正 1,515				
5. 家具固定事業	成果指標	実施件数	50件	4件	当初 182	21	利用が低調となった。 関心が高い方のニーズが一巡したと思われるが、町内において地震の際に危険な状態の寝室や家具は未だ散見される状況であるため、より一層の周知・啓発を行い利用促進に努める。	社会福祉協議会 取付委託を受けての専門知識をもったシルバー人材の派遣	②継続
	活動指標	住民に対する制度周知	広報誌への掲載1回	広報誌への掲載1回	補正 なし				
	成果指標								未選択
	活動指標								
				合計	7,185	6,660			

事業管理シート		R1 年度事業計画			
事業名	幹線道路の整備	事業コード	412-1	担当課名	建設課
				担当者名	東 慶人
1. 事業概要	会計名	一般会計	科目名(目)	土木総務費	
施策名	道路基礎の整備			施策コード	
戦略的取組の位置づけ	②V字回復戦略の波及を効果的にするために取り組む事業				
施策の貢献度	H30年	40%	R1年度	40%	
事業意図	<ul style="list-style-type: none"> ・国道、県道の整備、改良を促進します。 ・広域的なネットワークを高めるため幹線道路の整備を促進します。 ・災害に強い道路施設等を整備するとともに、避難道路の安全確保を図ります。 				
事業内容 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・国道260号道路改良促進期成同盟会・南島大宮大台線道路改良促進期成同盟会の総会を実施し、各関係機関に要望活動を行う。また、同盟会だけでなく町単独でも議会と道路整備促進に向けて国へ住民の声を届ける。 				
関連法規等					
個別計画 (計画期間)	南伊勢町地域強靱化計画 (平成27年～概ね5年)				

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額	1,022				
政策的経費 A	1,022				
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
決算額	1,022				

3. R1 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押して更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
新規事業 (再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重要事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費 (人件費、公債費、扶助費)、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値 (実績値)		
	H30	R1	R2	
成果	国道260号の町内事業稼働件数	2件	2件 (2件)	2件

5. R1 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること		
外部環境	【機会】	【脅威】
	<ul style="list-style-type: none"> ① ②改良整備や各路線の未整備区間の解消されてきている。 ② 道路法の改正により橋梁、トンネル等の定期点検が義務付けられ、道路インフラの老朽化対策が進んでいる。 ① 町全体で道路整備の推進に取り組んでいるため、要望時はいろいろな方面からの関係者に協力して頂ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 災害により国道が通行不能になった場合、交通渋滞が発生すれば迂回路がない。 ① 県道南島大宮大台線 (藤坂峠) が未改良である。 ① 県道未改良部分がある。 ① 伊勢志摩連絡道路 (第二伊勢道路) が開通することにより産業・観光ルートとして、国道260号への連絡道路である県道南勢磯部線が重要な幹線道路となってきている。 ① 期成同盟会総会の関係者の調整に時間を要する。
内部環境	【強み】	【弱み】
	<ul style="list-style-type: none"> ① 県道の安全性・利便性を向上するため隣接市町との連携が図れる状態にある。 ① 国道の整備だけでなく、付随する道の整備も力を入れており、しっかり目標 ① 町、議会が一体となって国道260号の整備促進を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① ②③財政が厳しい。 ① 沿岸部の国道が津波等の浸水のため寸断される。 ① 将来、県道南勢磯部線の交通量が増えることが見込まれる。 ① 県道中津浜浦五ヶ所浦線は車の対向ができないところがある。 ① 期成同盟会総会の関係の日程調整に時間を要する。 ① 国とのパイプをしっかり繋いでいく必要がある。

R1 年度に向けての当年度 (H30) 以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

【強み伸長】 国道260号期成同盟会、県道南島大宮大台線道路改良促進期成同盟会、南伊勢町議会と一体になり町単独での国道260号要望活動を行っている。
【脅威打破】 災害時にくしの歯ルートの確保するため県道を活用する。県道南島大宮大台線の要望も行う。
【弱み克服】 事業の緊急性、必要性を整理し、相手に伝わり易く要望書に反映させる。
【脅威回避】

9. 来年度 (R2) 以降の事業意図と内容

【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。
国道260号、県道南島大宮大台線の未改良区間の早期整備完成のため国道260号道路改良促進期成同盟会・南島大宮大台線道路改良促進期成同盟会の総会を実施し、各関係機関に要望活動を行う。また、同盟会だけでなく町単独でも議会と協働し道路整備促進に向けて国へ住民の声を届ける。その際関係機関との日程調整には細心の注意を図る。

6. R1 年度の事業成果 ……R1 年度末 記入欄

・国道260号道路改良促進期成同盟会で国会議員、国土交通省、財務省、三重県に要望活動を実施する事が出来た。 【同盟会1回 町単独1回】
・国道260号船越工区にて用地買収 (1件) ・補償、道路工を行い、東宮河内I期工区では用地買収・補償 (2件) を行う事が出来た。
・県道南島大宮大台線道路改良促進期成同盟会で三重県に要望活動を実施する事が出来た。 県道南島大宮大台線は、全線整備の事業化の目的はたっていないが、県単事業にて河内区間の道路が狭く、自動車でのすれ違いが困難な箇所にて待避所を整備する事が出来た。

7. 当年度事業 (R1) の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	②計画通り	国道260号道路改良促進期成同盟会、町単独要望活動、県道南島大宮大台線道路改良促進期成同盟会と計画通り行った。
必要性	公的関与の必要性	①今後も必要	国道260号の整備はアクセス性利便性、安全性の向上、地域の経済活動の活性化に極めて影響は高い。
	役割分担の適切性	①今後も適切	国道260号道路改良促進期成同盟会 (4市町) としての要望だけではなく、町単独の要望 (議会と協働) を行う事で南伊勢町として地域住民の声を届ける事が出来る。
効率性	業務・サービスの改善結果	③変わらない	<input type="checkbox"/> 迅速化 <input type="checkbox"/> 平準化 <input type="checkbox"/> 低コスト化 <input checked="" type="checkbox"/> 標準化 <input type="checkbox"/> 外部委託化 <input type="checkbox"/> IT・AI化 <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 能力向上 <input type="checkbox"/> その他 国道260号、県道南島大宮大台線の全線整備には多額の費用と時間がかかるが毎年の要望活動の積み重ねの結果、事業目標を達成することが出来た。
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後も適切	<input checked="" type="checkbox"/> 部署連携 <input type="checkbox"/> 官民連携 <input checked="" type="checkbox"/> 広域連携 <input type="checkbox"/> 事業連携 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> その他 他市町と協働した国道260号道路改良促進期成同盟会、南伊勢町議会と協働した町単独要望活動を行う事により国土交通省、財務省、国会議員の多くの方々から国道260号の現状、地域の声を届けることが出来た。

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input checked="" type="checkbox"/> 改革 <input checked="" type="checkbox"/> 改善	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input type="checkbox"/> 効率化 <input checked="" type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
説明	<input checked="" type="checkbox"/> 維持継続	
	・従来の国道260号期成同盟会での要望だけでなく、同じ国道260号の要望であっても、議会と一体となり、南伊勢町単独で南伊勢町の生の声を国に届ける事は効果的である。 ・三重県への要望は国道260号だけではなく、県道南島大宮大台線の要望も同時に行っており、有事の際の国道と県道と町道のネットワークの必要性、重要性を訴えている。	

事業名：地域づくり支援事業の充実

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
1. 国道整備促進事業	成果指標	国道 260 号の事業稼働件数 (町内分)	2	2	1,022	1,022	【当年度の事業成果】国道 260 号道路改良期成同盟会 令和元年 7 月 9 日 三重県土整備部、総務部、伊勢建設事務所 8 月 8、9 日国土交通省、財務省、地元選出議員に要望活動を行った。県道南島大宮大台線道路改良促進期成同盟会 令和元年 10 月 10 日 三重県土整備部、総務部、伊勢建設事務所に要望活動を行った。国道 260 号町単独要望 令和元年 10 月 10 日 三重県土整備部、総務部、伊勢建設事務所 11 月 20、21 日国土交通省、財務省、地元選出議員に要望活動を行った。 東宮河内 1 工区の用地買収、船越工区の用地買収、三重県と連携し工事に着手することが出来た。 【今後の改善の方向性】緊急性必要性を整理し要望書に反映させる必要がある。	三重県、各期成同盟会と協力し、国会議員、国土交通省、財務省への要望を行う。	②継続
	活動指標	要望回数	2	2					
2. 県道整備促進事業	成果指標	県道南島大宮大台線の事業稼働件数（町内分）	1	1	0	0	【当年度の事業成果】県道南島大宮大台線道路改良促進期成同盟会 令和元年 10 月 10 日 三重県土整備部、総務部、伊勢建設事務所に要望活動を行った 【今後の改善の方向性】緊急性必要性を整理し要望書に反映させる必要がある。	各期成同盟会と協力し三重県への要望活動を行う。	②継続
	活動指標	要望回数	1	1					
3. 県道整備促進事業	成果指標	県道中津浜浦五ヶ所浦線の事業稼働件数	1	1	0	0	【当年度の事業成果】令和元年 10 月 10 日 伊勢建設事務所に要望活動を行った 【今後の改善の方向性】緊急性必要性を整理し要望書に反映させる必要がある。	三重県に要望活動を行う。	②継続
	活動指標	要望回数	1	1					
3. 県道整備促進事業	成果指標	県道南勢磯部線の事業稼働件数	1	0	0	0	【当年度の事業成果】令和元年 8 月 16 日 伊勢建設事務所に県単要望を行った 【今後の改善の方向性】緊急性必要性を整理し要望書に反映させる必要がある。	三重県に要望活動を行う。	②継続
	活動指標	要望回数	1	1					
3. 県道整備促進事業	成果指標	その他県道の事業稼働件数	1	1	0	0	【当年度の事業成果】令和元年 8 月 16 日 伊勢建設事務所に県単要望を行った 【今後の改善の方向性】緊急性必要性を整理し要望書に反映させる必要がある。	三重県に要望活動を行う。	②継続
	活動指標	要望回数	1	1					
	成果指標								未選択
	活動指標								
			合計		1,022	1,022			

事業管理シート R1 年度事業計画

事業名	生活道路の整備	事業コード	412-2	担当課名	建設課
				担当者名	東 慶人
1. 事業概要	会計名	一般会計	科目名(目)	土木維持費	
施策名	道路基盤の整備			施策コード	
戦略的視点の位置付	②V字回復戦略の波及を効果的にするために取り組む事業				
施策の貢献度	H30年	30%	R1年度	30%	
事業意図	<ul style="list-style-type: none"> 生活に密着する町道の整備を計画的に推進します。 道路のバリアフリー化や歩道の整備、安全施設の設置を推進します。 災害に強い道路施設等を整備するとともに、避難道路の安全確保をはかります。 				
事業内容 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋梁の修繕・耐震化を図る。 南伊勢町 個別施設計画【舗装】に基づき修繕を行う。 社会資本整備総合計画に基づき整備を行う。 生活道路の安全性を確保するため、町単新設改良事業を早期に着手する。 橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋梁定期点検を実施する 社会資本整備総合計画に基づき法面点検を実施する。 				
関連法規等					
個別計画 (計画期間)	南伊勢町地域強靱化計画 (平成 27 年～概ね 5 年) 南伊勢町 個別施設計画【舗装】 (平成 3 1 年～) 社会資本整備計画 橋梁長寿命化修繕計画				

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額	346,283				
政策的経費 A	346,283				
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
決算額	263,932				

3. R1 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押して更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
新規事業 (再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重要事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費 (人件費、公債費、扶助費)、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値 (実績値)		
	H30	R1	R2	
成果	道路事業要望箇所の調査率	100%	100% (100%)	100%

5. R1 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること	
外部環境	<p>【機会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 各地区の要望を中心に工事施工しているので、交通障害等の理解が得やすい。 ① 地区によっては維持管理を積極的に実施していただけたところが増えている。 <p>【脅威】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 工事の際に交通障害が発生し、地域住民は不便を感じる。
内部環境	<p>【強み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 研修会や講習会に参加し、土木の専門知識を身に着ける。 <p>【弱み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 道路法改正により5年に1回の定期点検が義務づけられた。 ① 国、県、町の財政が厳しいため今後の進捗に課題がある。

R1 年度に向けての当年度 (H30) 以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

【強み伸長】 地元、関係機関、道路利用者に対し、綿密に調整を行い工事に対してわかりやすく説明し理解を得なければならない。
 【脅威打破】 工事による通行止めなど住民生活に支障が出るときは、工事予告看板をわかりやすい所に設置し、防災行政無線や町 HP、ケーブル TV を活用し、常に新しい情報を提供する。
 【弱み克服】 国道 260 号町単独要望の際に同時に道路設備の新たな財源の確保、橋梁メンテナンス予算、地域強靱化計画の取り組みを推進する予算の確保を要する。
 【脅威回避】 国の事業の方向性や追加補正等の動向に十分注意し早期実現に向け計画を進めて行く。

9. 来年度 (R2) 以降の事業意図と内容

【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。
 橋梁長寿命化計画に基づき橋梁定期点検、橋梁の修繕、耐震化を実施する。
 社会資本整備総合計画に基づき法面点検、道路整備を行う。
 生活道路の安全性確保のために公債債を活用し舗装修繕や町単新設改良事業を早期に着手する。

・・・R1 年度末 記入欄

6. R1 年度の事業成果

・社会資本整備総合交付金事業でその他町道形黒 1 号線道路改良工事他 9 件の整備を行う事が出来た。
 ・公債債を活用し、1 級町道中道青知線外舗装修繕工事他 3 件の整備を行う事が出来た。
 ・町単新設改良工事で 13 件の工事を施工する事が出来た。

7. 当年度事業 (R1) の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	①上回っている	舗装工事を社会資本整備総合交付金事業 (3 件)、公債債 (4 件) を活用し行った。地区からの道路事業要望箇所の全ての確認調査を行った。
必要性	公的関与の必要性	①今後も必要	道路施設の経年劣化に伴う維持管理は今後も進めて行く必要がある。
	役割分担の適切性	①今後も適切	各地区より道路損傷箇所の報告を頂き建設課が現場の確認を行い必要な処置を行う。
効率性	業務・サービスの改善結果	①効率化できた	<input type="checkbox"/> 迅速化 <input type="checkbox"/> 平準化 <input type="checkbox"/> 低コスト化 <input type="checkbox"/> 標準化 <input type="checkbox"/> 外部委託化 <input type="checkbox"/> IT・AI 化 <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 能力向上 <input type="checkbox"/> その他 経年劣化による維持修繕費は年々増加傾向にあり、修繕時期や費用の集中が想定される。効率的で効果的維持管理が必要です。
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後も適切	<input type="checkbox"/> 部署連携 <input type="checkbox"/> 官民連携 <input type="checkbox"/> 広域連携 <input type="checkbox"/> 事業連携 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> その他 今後も補助御事業や起債事業を活用し、安全な道路維持修繕を行っていく。

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input checked="" type="checkbox"/> 改革 <input checked="" type="checkbox"/> 改善	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input type="checkbox"/> 効率化 <input checked="" type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
説明	<input checked="" type="checkbox"/> 維持継続 各地区からの要望により生活道路である町道の整備を行う。既設の橋梁を定期的に点検、修繕し長寿命化を図る。	

事業名：地域づくり支援事業の充実

10. 事業を構成する細事業内容

□6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
1. 町単道路改良事業	成果指標	道路事業要望箇所の調査率	100	100	45,400	43,856	【当年度の事業成果】道路新設改良工事（13路線）を実施した。各区からの要望により現場の確認を行った。 【今後の改善の方向性】工事発注にあたり通行止め等の諸問題について地元や各関係機関と綿密に調整を行い問題が生じないように取り組みを行う。	地元区からの要望により工事を発注し、受注者とともに工事を完成させる。	②継続
	活動指標	道路改良工事数	7	9					
2. 交通安全事業	成果指標	南伊勢町通学路安全推進会議開催回数	1	1	0	0	【当年度の事業成果】南伊勢町通学路安全推進会議を南伊勢町役場建設課、防災課、教育委員会、伊勢建設事務所、校長会、伊勢建設事務所を委員とし開催を行った。 【今後の改善の方向性】会議開催にあたり各学校の意見を聞く必要があり、また国道、県道が通学路であるので学校、伊勢建設事務所、伊勢警察と言った役場以外の委員の出席調整を行う必要がある。	各委員の方々の意見を聞き、それぞれが協力し通学路の安全を図る。	②継続
	活動指標	合同点検回数	5	1					
3. 道路改良事業	成果指標	舗装状況調査数	10	10	217,878	171,793	【当年度の事業成果】榎柄阿曾線外15路線補修繕工事（6路線）を実施した。各区からの要望により舗装状況の確認を行った。 【今後の改善の方向性】工事発注にあたり通行止め等の諸問題について地元や各関係機関と綿密に調整を行い問題が生じないように取り組みを行う。	地元区からの要望により工事を発注し、受注者とともに工事を完成させる。	②継続
	活動指標	交付金道路舗装工事件数	1	3					
4. 道路改良事業	成果指標	橋梁点検箇所数	46	46	83,005	48,283	【当年度の事業成果】46橋の橋梁点検、53橋の橋梁塗膜調査、キド橋、赤谷橋、輪切間橋、里上橋、迫間浦10号橋の橋梁修繕を実施した。 【今後の改善の方向性】工事発注にあたり通行止め等の諸問題について地元や各関係機関と綿密に調整を行い問題が生じないように取り組みを行う。	地元区からの要望により工事を発注し、受注者とともに工事を完成させる。	②継続
	活動指標	橋梁修繕箇所数	5	5					
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
			合計		346,283	263,932			

事業管理シート R1 年度事業計画

事業名	道路の適切な維持管理		事業コード	412-3	担当名	建設課
					担当名	東 慶人
1. 事業概要	会計名	一般会計	科目名(目)	橋梁維持費 道路維持費		
施策名	道路基盤の整備				施策コード	
戦略力以外の位置づけ	③V字回復戦略を下支えるために取り組む事業					
施策の貢献度	H30年	30%	R1年度	30%		
事業意図	<ul style="list-style-type: none"> 生活に密着する町道の整備を計画的に推進します。 道路のバリアフリー化や歩道の整備、安全施設の設置を推進します。 道路の計画的で適切な維持管理を行います。 					
事業内容 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> 楓光橋の出水予報装置定期点検業務及び可動装置点検業務の委託。 また、有事(河川の増水等)の際には建設課職員で可動する。 生活道路の安全性を確保するため、町単道路維持工事を早期に着手する。 建設課職員でパトロールを実施し町道等の適切な維持管理を行う。 各区や地域住民等連絡により町道に異常があった場合は、直ちに現場を確認し適切に対処する。(直営施工、小規模事業) 					
関連法規等						
個別計画 (計画期間)	南伊勢町地域強靱化計画(平成27年～概ね5年) 南伊勢町 個別施設計画【舗装】(平成31年～) 社会資本整備計画 橋梁長寿命化修繕計画					

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額	54,620				
政策的経費 A	35,500				
政策的経費 B	19,120				
経常的経費 A					
経常的経費 B					
決算額	53,526				

3. R1 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押し更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
新規事業(再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重点事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費(人件費、公債費、扶助費)、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値(実績値)		
	H30	R1	R2	
成果	楓江橋点検回数	1回	1回 (1回)	1回

5. R1 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること		
外部環境	【機会】	【脅威】
	<ul style="list-style-type: none"> ① 各地区、地域住民等から町道に異常があった場合に通報していただける。 ① 昭和58年から楓江橋が稼働しているため、有事の際に橋が利用出来なくても、近隣住民の理解が得られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 定期点検、有事の際には楓江橋を上げるためその間橋の利用ができなくなる。 ① 町道の舗装、側溝の老朽化が進んでいる。 ① 高齢化の進む地域では、出合い作業による側溝清掃、除草作業が困難になっている。
内部環境	【強み】	【弱み】
	<ul style="list-style-type: none"> ① 有事の際には職員が楓江橋を操作し道路利用者の安全を図ることができる。 ① 緊急性、必要性の高い現場の測量、設計、積算、施工管理を直営で行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 昭和58年に建設された、楓江橋は電動で上下に動作を行う特殊な橋梁であるため、毎年出水予報装置定期点検及び可動装置定期点検が必要である。 ① 1,247路線ある町道を適切に維持管理するには人と時間とお金が必要となる。 ① 町内間の移動に時間がかかる。

R1 年度に向けての当年度(H30)以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

<ul style="list-style-type: none"> 【強み伸長】 新技術やメンテナンス分野に着目する。 【脅威打破】 道路環境整備事業により区と協働し適切な維持管理に努める。 【弱み克服】 研修会などの参加や新技術などの情報収集により工事費の削減に取り組んでいく。 【脅威回避】 楓江橋の可動時には通行止めとなるため地元区と連携を密にし、情報を発信する。
--

9. 来年度(R2)以降の事業意図と内容

【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。 上下に動作を行う楓江橋の定期点検と職員に対して操作研修を行う。また有事(河川の増水等)の際には建設課職員で可動させる。 生活道路の安全性を確保するため、町単道路維持工事を早期に着手する。 建設課職員でパトロールを実施し町道等の適切な維持管理を行う。 各区や地域住民等の連絡により町道に異常があった場合は、直ちに現場を確認し適切に対処する(直営施工、小規模事業)

・・・R1 年度末 記入欄

6. R1 年度の事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・楓江橋は五ヶ所川の急激な水位上昇に対応するため、電動で上下に動作する特殊な橋梁であり、毎年、大雨、台風時期に可動させるため定期点検を行う必要がある。その結果、今年度も1度大雨の際に職員で橋を上げ、被災を防ぐ事が出来た。 ・道路維持工事(10路線)を実施した。各区からの要望により現場の確認を行った。

7. 当年度事業(R1)の総合評価

事業の成果	評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況 ②計画通り	電動で上下に動作する楓江橋が大雨、台風時期にスムーズに可動する様に定期点検を行った。各区からの要望箇所の確認、道路維持工事を実施が出来た。
必要性	公的関与の必要性 ①今後も必要	河川の水位上昇時に作業を行うため、建設課職員だけでなく警備待機中の職員が作業出来るよう講習会を開く。
	役割分担の適切性 ①今後も適切	急激な河川水位上昇に対応出来る様、地区住民、消防団等からの通報や職員パトロールにより対策、対応を行う。
効率性	業務・サービスの改善結果 ③変わらない	<ul style="list-style-type: none"> ■迅速化 □平準化 □低コスト化 ■標準化 □外部委託化 □IT・AI化 ■民間活用 □能力向上 □その他 大雨、台風時期には地域との連絡を密にし、急激な水位上昇に対応出来るようより良い体制の充実を図る。道路の安全確保の為に地域からの道路異常の報告には直ちに現場確認を行い適切に対処する。
有効性	指標や取り組みの妥当性 ①今後も適切	<ul style="list-style-type: none"> ■部署連携 ■官民連携 □広域連携 □事業連携 □サービス向上 □その他 何時でも楓江橋が稼働出来るよう管理する必要がある。安全な道路を確保するためには、道路に異常がある場合は早急に対応する必要があるため、地域からの報告が重要となる。

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input checked="" type="checkbox"/> 改革 <input checked="" type="checkbox"/> 改善	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
説明	<input checked="" type="checkbox"/> 維持継続	
	各地区からの要望により生活道路である町道の整備を行う。 町道等の適切な維持管理のために、建設課職員のパトロールや地域住民から連絡により町道等に異常があった場合は直に現場確認し、適切に処理する。	

事業名：地域づくり支援事業の充実

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
1. 道路の安全 対策事業	成果指標	道路事業要望箇所の調査率	100	100	53,212	52,175	【当年度の事業成果】道路維持工事（10路線）を実施した。各区からの要望により現場の確認を行った。 【今後の改善の方向性】工事発注にあたり通行止め等の諸問題について地元や各関係機関と綿密に調整を行い問題が生じないように取り組みを行う。	地元区からの要望により工事を発注し、受注者とともに工事を完成させる	②継続
	活動指標	町単道路維持工事件数	7	7					
1. 道路の安全 対策事業	成果指標	楓江橋点検回数	1	1	1,408	1,351	【当年度の事業成果】楓江橋の動作確認、出水予報装置の定期点検をおこなった。また出水時に職員で楓江橋を上げ道路利用者の安全を図った。楓江橋操作マニュアルの講習会を3回実施した。 【今後の改善の方向性】楓江橋の通行止め時間を気象、河川の状況を検討し最小限とする。	管理委託業者に出水予報装置点検（年4回）、可動点検（年2回）を行う。	②継続
	活動指標	楓江橋操作マニュアルの講習会の実施	3	3					
	成果指標								未選択
	活動指標								未選択
	成果指標								未選択
	活動指標								未選択
	成果指標								未選択
	活動指標								未選択
			合計		54,620	53,526			

事業管理シート		R1 年度事業計画			
事業名	治水・砂防・急傾斜対策の推進	事業コード	413-2	担当課名	建設課
				担当者名	東 慶人
1. 事業概要	会計名	一般会計	科目名(目)	砂防費	
施策名	治山・治水・海岸の保全			施策コード	
戦略力以外の位置付	③V字回復戦略を下支えるために取り組む事業				
施策の貢献度	H30年	30%	R1年度	30%	
事業意図	・土砂災害（がけ崩れ・土石流・地すべり）を防止するため、治水・砂防・急傾斜対策事業を進めます。				
事業内容（R1年度）	・国補 急傾斜地崩壊対策事業（賢浦7地区） ・古和浦地区（上の山）通常砂防事業 ・三重県が実施する土砂災害警戒区域指定にかかる基礎調査の実施地区へ三重県と協力し地元説明会を行う。【南勢5地区（伊勢路、押淵、斉田、始神、内瀬）南島4地区（東宮、奈屋浦、槌柄浦、賢浦）】				
関連法規等					
個別計画（計画期間）	南伊勢町地域強靱化計画（平成27年～概ね5年）				

2. 予算決算額の推移（千円）

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額	520				
政策的経費 A					
政策的経費 B	520				
経常的経費 A					
経常的経費 B					
決算額	3,500				

3. R1 年度事業費予算内訳（千円） ※事業費は F9 を押して更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
新規事業（再掲）	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重点事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費（人件費、公債費、扶助費）、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値（実績値）		
	H30	R1	R2	
成果	急傾斜地事業工事件数	3回	1回（2回）	2回

5. R1 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること	
外部環境	<p>【機会】</p> <p>① 事業を行うにあたり、三重県が行う地元説明会に町も同行することにより、様々な意見に対して納得いくまで話し合いを行う。</p> <p>【脅威】</p> <p>① 国、県とも財政的に厳しく砂防・急傾斜事業の予算確保が困難である。</p> <p>① 砂防、急傾斜事業を進めるにあたり用地協力等、反対者の問題。</p> <p>① 急傾斜事業の地元負担金の支払い。</p>
内部環境	<p>【強み】</p> <p>① 三重県に地元の声として強く要望し事業化にむけて働きかけを行う。</p> <p>【弱み】</p> <p>① 砂防、急傾斜事業（三重県）に関して、町の役割負担増加。</p>

R1 年度に向けての当年度（H30）以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

【脅威打破】土砂災害から住民を守るためにハード事業だけでなくソフト事業も同時に進め、住民の方々にも「知る努力」を行って頂き人的被害ゼロを目指す。

9. 来年度（R2）以降の事業意図と内容

<p>【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。</p> <p>南島東小学校を土砂崩落から守るために国補急傾斜地崩壊対策事業（賢浦7地区）、県単急傾斜地崩壊対策事業を実施する。</p> <p>古和浦地上の山地区を国補古和浦地区（上の山）通常砂防事業を実施する。</p> <p>三重県が実施する土砂災害警戒区域指定にかかる基礎調査の実施地区に三重県と協力し地元説明を行う。</p>
--

6. R1 年度の事業成果

<p>・三重県が国補急傾斜地崩壊対策事業（賢浦7地区）工事を実施する事が出来た。</p> <p>・三重県が県単急傾斜地崩壊対策事業（船越1地区）工事を実施する事が出来た。</p> <p>・三重県が古和浦地区（上の山）通常砂防事業工事を実施する事が出来た。</p> <p>・南勢5地区（伊勢路、押淵、斉田、始神、内瀬）南島4地区（東宮、奈屋浦、槌柄浦、賢浦）で地元説明会を開催し、土砂災害警戒区域の指定を行う事が出来た。</p>

7. 当年度事業（R1）の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	②計画通り	県と協働で賢浦7地区、船越1地区急傾斜地崩壊対策事業の事業に着手し、用地買収、測量、工事を発注することが出来た。
必要性	公的関与の必要性	①今後も必要	町民が安心・安全に生活するために災害防除の一環として急傾斜地崩壊対策や通常砂防事業を必要に応じて進めて行く必要がある。
	役割分担の適切性	①今後も適切	土砂災害防止のためにハード事業【工事】とソフト事業【土砂災害警戒区域の指定】の両面の対策を行う。
効率性	業務・サービスの改善結果	③変わらない	<input type="checkbox"/> 迅速化 <input type="checkbox"/> 平準化 <input type="checkbox"/> 低コスト化 <input type="checkbox"/> 標準化 <input type="checkbox"/> 外部委託化 <input type="checkbox"/> IT・AI化 <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 能力向上 <input type="checkbox"/> その他 ソフト事業【土砂災害警戒区域の指定】R2年度に全域指定の予定。
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後も適切	<input checked="" type="checkbox"/> 部署連携 <input type="checkbox"/> 官民連携 <input type="checkbox"/> 広域連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業連携 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> その他 今後も危険箇所については三重と協議しながら事業を進めて行く。

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input checked="" type="checkbox"/> 改革 <input checked="" type="checkbox"/> 改善	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input type="checkbox"/> 効率化 <input checked="" type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
説明	<input checked="" type="checkbox"/> 維持継続 土砂崩壊から住民の財産を守るために急傾斜対策事業や砂防事業を三重県に要望する。 土砂災害時の被害の軽減を図るために土砂災害警戒区域指定を行い住民に危険箇所を知らせるための努力を行う。	

事業名：地域づくり支援事業の充実

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
1. 急傾斜地崩壊対策事業	成果指標	急傾斜地事業工事件数	2	2	520	3,500	【当年度の事業成果】県と協働で費浦7地区、船越1地区急傾斜地崩壊対策事業の事業に着手し、用地買収、測量、工事を行った。 【今後の改善の方向性】工事等にトラブルがあった場合、県だけでなく町も一緒に解決する。	地区からの要望により三重県に要望、現場確認等を行い事業化する。	②継続
	活動指標	急傾斜地事業の要望件数	2	2					
2. 土砂災害防止対策事業	成果指標	基礎調査の実施箇所数	38	38	0	0	【当年度の事業成果】三重県が土砂災害により被害を受けるおそれのある場所（危険箇所）を対象とした基礎調査を全地区行い、そのうち9箇所の地元説明会を開催し、土砂災害警戒区域の指定を行った。 【今後の改善の方向性】令和2年度に残り8箇所の地元説明会を行い南伊勢町全域の土砂災害警戒区域を指定する。	三重県と協働による知らせる努力を続け、住民には知る努力を行って頂く。	②継続
	活動指標	住民説明会開催数	9	9					
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
			合計		520	3,500			

事業管理シート		R1 年度事業計画			
事業名	河川整備の推進	事業コード	413-3	担当課名	建設課
				担当者名	東 慶人
1. 事業概要	会計名	一般会計	科目名(目)	河川維持費	
施策名	治山・治水・海岸の保全			施策コード	
戦略的視点の位置付	③V字回復戦略を下支えるために取り組む事業				
施策の貢献度	H30年	50%	R1年度	50%	
事業意図	・河川などの整備を行うことにより、浸水などの河川災害を防止します。				
事業内容 (R1年度)	・地区要望や現地調査を踏まえて、浸水などの河川災害を防止するため河川維持工事が必要と判断された箇所について工事を発注する。その際に規模が大きい場合は年次計画をたて整備していく。 ・県管理河川についても同様に現地調査を行い三重県に要望を行う。				
関連法規等					
個別計画 (計画期間)					

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額	22,440				
政策的経費 A	16,500				
政策的経費 B	5,940				
経常的経費 A					
経常的経費 B					
決算額	21,742				

3. R1 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押して更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
新規事業 (再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重要事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費（人件費、公債費、扶助費）、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値 (実績値)		
	H30	R1	R2	
成果	河川事業要望箇所数の調査率	100	100 (100)	100

5. R1 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること	
外部環境	<p>【機会】</p> <p>① 災害が発生した場合、南伊勢町内の管理河川を職員がパトロールするが、河川数も多く的確に災害箇所を把握できない。各区長からの情報が入ることでスピード感をもった対応ができる。</p> <p>【脅威】</p> <p>① 県管理の河川において堆積土砂の予算確保ができず、土砂の撤去が進んでいない。</p> <p>① 河川工事の際には下流域に濁流の影響が懸念される。</p>
内部環境	<p>【強み】</p> <p>① 町管理河川は年次計画をたてて土砂の撤去を進めている。</p> <p>【弱み】</p> <p>① 町の土捨場がない。</p>

R1 年度に向けての当年度 (H30) 以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

<p>【強み伸長】</p> <p>【脅威打破】 地域の声として県に強く要望する。</p> <p>【弱み克服】 地域の調整により土捨場の提供をお願いする。</p> <p>【脅威回避】 河川工事の際には下流域に濁水等の影響が少ない時期に行うなど関係者と十分な協議を行う。</p>

9. 来年度 (R2) 以降の事業意図と内容

<p>【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。</p> <p>河川環境整備事業実施河川数を増加させる。</p> <p>地区要望や現地調査を踏まえて、浸水などの河川災害を防止するため河川維持工事が必要と判断された箇所について工事を発注する。その際に規模が大きい場合は年次計画をたて整備していく。</p> <p>県管理河川についても同様に現地調査を行い三重県に要望を行う。</p>
--

・・・R1 年度末 記入欄

6. R1 年度の事業成果
<p>・自分たちの住むまちを美しくするために行う河川環境整備事業を町と地元住民が対等なパートナーシップを組み積極的に推進することを目的とし、要望のある区と業務委託を締結した。</p> <p>・里山川の張コン、福浦川の護岸修繕を行い、河川護岸の強靱化が図られた。また、伊勢地川、形黒川、大方川、方座川の土砂撤去、神出川の河床整備を行い河川断面を確保し機能保全が図られた。</p> <p>・県単要望の結果、2 級河川村山川、伊勢路川堆積土砂の撤去が出来た。</p>

7. 当年度事業 (R1) の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	③やや下回っている	河川環境整備事業を地元区に推進しているが目標値に届かなかったため今後多くの区に参加して頂くように啓発活動を行っていく必要がある。河川機能を良好な状態に保つための整備は行えた。
必要性	公的関与の必要性	①今後も必要	本事業に賛同し、活動し、それに必要な物品購入費の一部補助は今後も必要である。
	役割分担の適切性	①今後も適切	地域や団体が清掃活動を行い、それに対する活動物品に対する費用負担の一部を行政が行う。
効率性	業務・サービスの改善結果	③変わらない	<input type="checkbox"/> 迅速化 <input type="checkbox"/> 平準化 <input type="checkbox"/> 低コスト化 <input type="checkbox"/> 標準化 <input type="checkbox"/> 外部委託化 <input type="checkbox"/> IT・AI 化 <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 能力向上 <input type="checkbox"/> その他 住民一人一人が河川環境整備事業をきっかけとし、普段から、町を汚さない、自分たちで美しいまちをつくるための意識づけが出来れば徐々に効果は表れる。
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後も適切	<input type="checkbox"/> 部署連携 <input type="checkbox"/> 官民連携 <input type="checkbox"/> 広域連携 <input type="checkbox"/> 事業連携 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> その他 河川環境整備事業の実施河川数の増加と効率性は比例する。

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input checked="" type="checkbox"/> 改革 <input checked="" type="checkbox"/> 改善	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
説明	<input checked="" type="checkbox"/> 維持継続 河川環境整備事業実施河川数を増加させる。 町管理河川は年次計画をたて土砂撤去し、災害時の越水を防止する。 災害発生時には地元区長と連絡を密にして被害の最小化を図る。	

事業名：地域づくり支援事業の充実

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
1. 河川環境整備事業	成果指標	町管理河川数	158	158	1,000	650	【当年度の事業成果】自分たちの住むまちを美しくするために行う河川環境整備事業を町と地元住民が対等なパートナーシップを組み積極的に推進することを目的とし、要望のある区と業務委託を締結した。 【今後の改善の方向性】各区に事業の目的を説明、理解して頂き自分たちの河川との意識付けを行い、多くの区に参加して頂けるよう啓発活動を行う。	町が管理する河川に繋がっている木や草の除去や堆積土砂の撤去などの作業を実施する。	②継続
	活動指標	区から申出があり、河川環境整備を実施した河川数	5	3					
2. 河川氾濫予防対策事業	成果指標	町管理河川数	158	158	2,420	1,620	【当年度の事業成果】神津佐川、五ヶ所川、村山川、古和川に水位標を設置する事により、大雨時の増水の際にいち早く避難する事が出来た。 【今後の改善の方向性】氾濫の恐れのある河川に水位標を設置する事により住民の方々の災害時の避難意識の向上を図る。	区から要望を実現するために、県への要望や町工事を工事受注者と完成させる。	②継続
	活動指標	水位標設置件数	4	4					
3 河川・排水路維持修繕事業	成果指標	河川事業要望箇所の調査率	100	100	19,020	22,316	【当年度の事業成果】里山川の土羽補強、奈屋川、福浦川の護岸修繕を行い、河川護岸の強靱化が図られた。また、ミオケ川の土砂撤去、神出川の河床整備を行い河川断面を確保し機能保全が図られた。 県単要望の結果、2級河川村山川、大江川の堆積土砂の撤去が出来た。 【今後の改善の方向性】河川の工事発注に関しては、下流域に濁水等の影響が懸念されるため時期や期間など関係者と十分な協議を行った。	区から要望を実現するために、県への要望や町工事を工事受注者と完成させる。	②継続
	活動指標	河川工事件数	6	6					
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
			合計		22,440	24,586			

事業管理シート R1 年度事業計画

事業名	港湾海岸保全施設の整備促進		事業コード	413-4	担当名	建設課
					担当名	東 慶人
1. 事業概要	会計名	一般会計	科目名(目)	河川海岸施設管理費 港湾管理費海岸保全費		
施策名	治山・治水・砂防の保全				施策コード	
戦略力以外の位置づけ	③V字回復戦略を下支えするために取り組む事業					
施策の貢献度	H30年	20%	R1年度	20%		
事業意図	・海岸浸食の防止や養浜のため、計画的な港湾海岸保全事業を推進します。					
事業内容 (R1年度)	・三重県が管理する河川水門・樋門など14門、海岸樋門・陸閘など79門、また五ヶ所港152門、吉津港10門を区に操作業務委託。 ・中津浜地区(海浜公園)海岸維持管理を区に業務委託。 ・五ヶ所港、吉津港の港湾海岸維持管理を各団体、漁協に業務委託。 ・三重県と共同で海岸施設の調査を行い老朽化対策に取り組む。また、田曾浦東地区、相賀浦東地区を継続して海岸清掃に取り組めるよう三重県に対し補助金等の要望を行う。					
関連法規等						
個別計画 (計画期間)						

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額	5,151				
政策的経費 A					
政策的経費 B	5,151				
経常的経費 A					
経常的経費 B					
決算額	5,359				

3. R1 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押し更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
新規事業 (再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重点事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費 (人件費、公債費、扶助費)、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値 (実績値)		
	H30	R1	R2	
成果	維持管理を行う港湾・海岸施設数	3施設	3施設 (3施設)	3施設

5. R1 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること	
外部環境	<p>【機会】</p> <p>① 施設のある区や団体に業務委託を行うことで、防災意識を高め、景観保全等に努める。</p> <p>【脅威】</p> <p>① 災害時に樋門・陸閘を閉める行為は生命に直結するため、閉める人がいない。</p> <p>① 台風や大雨後は河川から大量の流木が流れて港湾内に漂着したため漁業者が困った。</p>
内部環境	<p>【強み】</p> <p>① 三重県、町、各区において問題点を情報共有し港湾、海岸施設の有効に努める。</p> <p>【弱み】</p> <p>① 河川、海岸施設、また港湾海岸施設の維持管理を継続的に行うためには維持管理の予算が必要である。</p>

R1 年度に向けての当年度 (H30) 以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

<p>【強み伸長】</p> <p>【脅威打破】 防潮扉等の操作者の安全性の確保したうえで、津波被害を軽減するために、防潮扉等の常時閉鎖の取り組みを進める。</p> <p>【弱み克服】 維持管理費を捻出するために国、県に要望を行う。</p> <p>【脅威回避】</p>

9. 来年度 (R2) 以降の事業意図と内容

<p>【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。</p> <p>三重県が管理する河川水門・樋門など14門、海岸樋門・陸閘など79門、また五ヶ所港152門、吉津港10門を区に操作業務委託を行う。</p> <p>中津浜地区(海浜公園)、五ヶ所港、吉津港を各地区、各団体、漁協に業務委託を行う。</p> <p>三重県と共同で海岸施設の調査を行い老朽化対策に取り組む。また、田曾浦東地区、相賀浦東地区が継続して海岸清掃に取り組めるよう三重県に対し補助金等の要望を行う</p>
--

・・・R1 年度末 記入欄

6. R1 年度の事業成果
<p>・三重県が管理する河川・海岸施設および港湾施設の水門・樋門・陸閘については、施設のある区に管理を委託し、施設の点検等機能維持を図れた。</p> <p>・海岸の美化清掃を年2回実施することにより、海岸の環境整備並びに健全な憩いの場を提供することが出来た。</p> <p>・中津浜地区の海岸維持(清掃等)を地元区に委託した。</p> <p>・五ヶ所港、吉津港の港湾海岸維持(清掃等)を各団体、漁協に委託を行った。</p>

7. 当年度事業 (R1) の総合評価

事業の成果	評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況 ②計画通り	中津浜地区、五ヶ所港、吉津港の3施設の美化清掃を実施し海岸の環境整備並びに健全な憩いの場を提供することが出来た。
必要性	公的関与の必要性	①今後も必要
	役割分担の適切性	①今後も適切
効率性	業務・サービスの改善結果	③変わらない
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後も適切

8. 今後の事業の方向性

方向性	<p><input type="checkbox"/> 革新</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 改革</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 改善</p> <p><input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合</p> <p><input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 補助事務化 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の適正化</p> <p><input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働実施</p> <p><input type="checkbox"/> 効率化 <input checked="" type="checkbox"/> その他</p>
	<p><input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与と低下</p> <p><input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持継続
説明	災害時に操作者の安全を確保し被害を軽減するため、防潮扉等の常時閉鎖を推進していく。海浜公園や港の景観保全の維持に努める。

事業名：地域づくり支援事業の充実

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
1. 港湾保全施設の維持管理事業	成果指標	維持管理を行う港湾・海岸施設数	3	3	2,692	2,805	【当年度の事業成果】海岸の美化清掃を年2回実施することにより、海岸の環境整備並びに健全な憩いの場を提供することが出来た。 地元住民による協働作業で、景観保全と美化意識の向上に努めた。 【今後の改善の方向性】地元住民や漁業関係者にしっかり説明しポイ捨てなどマナー・モラルの向上を図る。	区や地元団体が実施した海岸清掃活動に対し役務費の対価として手数料を支払う。	②継続
	活動指標	清掃を行う各種団体数	6	6					
2. 海岸の維持管理事業	成果指標	海岸の美化清掃を行う海岸施設数	2	2	606	606	【当年度の事業成果】海岸の美化清掃を年2回実施することにより、海岸の環境整備並びに健全な憩いの場を提供することが出来た。 地元住民による協働作業で、景観保全と美化意識の向上に努めた。 【今後の改善の方向性】地元住民や漁業関係者にしっかり説明しポイ捨てなどマナー・モラルの向上を図る。	区や地元団体が実施した海岸清掃活動に対し役務費の対価として手数料を支払う。	②継続
	活動指標	各団体が行う清掃回数（年/回）	2	2					
3. 海岸保全施設の維持管理事業	成果指標	警報発令時における樋門等の問題報告件数	0	0	1,853	1,948	【当年度の事業成果】樋門等操作業務を区と契約し定期的な点検（年4回）を行った。また点検結果で不具合があった場合は即座に県に報告し修理の要望を行った。 【今後の改善の方向性】操作を各区に委託することにより防災意識、施設の重要性の認識の向上と保全が図られた。	区と三重県と協力し定期点検の実施、不具合があった場合の修理を行う。	②継続
	活動指標	区による点検回数	4	4					
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
			合計		5,151	5,359			

事業管理シート R1年度事業計画

事業名	医療提供体制の充実	事業コード	421-1	担当課名	町立南伊勢病院
				担当者名	山本誠樹

1. 事業概要	会計名	病院事業会計	科目名(目)	
施策名	地域医療の確立			施策コード
戦略的取組の位置づけ	①V字回復戦略として最重点に取り組む事業			
施策の貢献度	R1年	%	R2年度	%
事業意図	必要ときに必要な医療が受けられる医療体制があり、安心して医療を受けられるまちにします。			

事業内容 (R2年度)	町内の医療が安定的かつ町民ニーズに応じて確保されるよう、医療提供体制を充実させます。
関連法規等	
個別計画 (計画期間)	町立南伊勢病院改革プラン (2019年度～2023年度)

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
決算額					

3. R2年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費はF9を押し更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
新規事業 (再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重点事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費 (人件費、公債費、扶助費)、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値 (実績値)		
	H30	R1	R2	
成果	① 常勤医師数	① 7人	① 8人	① 8人
	② 診療科目	② 11科	② 12科	② 12科

5. R2年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること	
外部環境	<p>【機会】</p> <ol style="list-style-type: none"> 近隣には高度急性期機能を担う病院があり連携し、救急医療体制が整備されてきている。 5.6.7.三重大学をはじめ伊勢日赤や厚生連、また三重県などの人的支援が受けられる。 <p>【脅威】</p> <ol style="list-style-type: none"> 高齢化に伴いなんらかの病気をもちながら在宅で介護サービスを利用しながら生活をしている人が多くなっていく。 人口減少に伴い患者数が減少していく。 地域医療構想により伊勢志摩地区の病院の機能分化と連携が進んでおり、その影響を受けて町立病院や南島メディカルセンターの患者数の確保が難しくなる。 8.9.南海トラフを震源とする巨大地震、大津波の発生により多くの被災者が出る事が予想される。
内部環境	<p>【強み】</p> <ol style="list-style-type: none"> 町立病院では訪問診療や訪問看護、訪問リハ、看取りなど在宅医療に対応できる。 町立病院は「在宅療養支援病院」として、町民の在宅療養生活を支援している。 南島メディカルセンターは通所リハ、訪問看護、看取りなど在宅医療に対応できる。 町立病院と南島メディカルセンター、行政で地域医療について検討している。 町立病院には、内科、脳神経内科、整形外科、外科、皮膚科、小児科、眼科など総合的な診療機能がある。 町立病院は高台に移転した。 <p>【弱み】</p> <ol style="list-style-type: none"> 町内に二次救急に対応できる病院がない。 町内の医療機関の役割分担や連携 (病診連携) が進んでいない。 町立病院と南島メディカルセンターには、必要とされる診療科の設置が充分でない。 6.7.町立病院は派遣医師に頼るところが大きく継続性に不安がある。 9.町内には災害時に備えた医療受援体制が整っていない。

R2年度に向けての当年度 (R1) 以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

<ol style="list-style-type: none"> 【弱み克服】町内には二次救急に対応できる病院がありません。 【脅威打破】町内に高齢化に伴いなんらかの病気をもちながら在宅で介護サービスを利用しながら生活をしている人が多くなっていくので、在宅医療介護の機能強化と町内外に及ぶ連携を進める必要があります。 【脅威回避】人口減少や地域医療構想により伊勢志摩地区の病院の機能分化と連携が進むなか、町立病院や南島メディカルセンターの患者確保が難しくなるため町内の医療機関の役割分担と連携を進める必要があります。 【脅威回避】訪問診療や訪問看護、訪問リハ、看取りなどの在宅医療をさらに充実させ、増加する独居老人や高齢者世帯のニーズに対応していくことが求められます。
--

9. 来年度 (R2) 以降の事業意図と内容

<p>【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。</p> <p>【改善】 医療提供体制を整えるうえで町立病院の診療体制の維持・継続は必須となる。そのために必要となる対策を積極的に実施していく。特に令和3年度以降は町内の医療提供体制の見直しを具体的に進めていく。</p>

6. R1年度の事業成果

<p>・・・R1年度末 記入欄</p>

7. 当年度事業 (R1) の総合評価

事業の成果	評価結果	評価の説明
達成度	③ ②計画通り	町立病院として必要な医療を健全な運営の下で提供するために必要な医師数・診療科数を維持できた。
必要性	① ①今後必要	町立病院が公立病院として不採算医療を担うためには、町の財政支援をはじめ、公的関与が必要である。
	① ①今後適切	町内外の医療機関との連携と、それぞれの特性を生かした役割分担を行い、果たすべき役割 (地域急性期病院) を担っていく必要がある
効率性	②やや効率化できた	<input type="checkbox"/> 迅速化 <input type="checkbox"/> 平準化 <input type="checkbox"/> 低コスト化 <input type="checkbox"/> 標準化 <input type="checkbox"/> 外部委託化 <input type="checkbox"/> IT・AI化 <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 能力向上 <input type="checkbox"/> その他 毎日ではないものの7科の診療科を開設しており、特に新築移転後は患者の受療希望が多かった眼科も週1回ではあるが開設できた。
有効性	①今後適切	<input type="checkbox"/> 部署連携 <input type="checkbox"/> 官民連携 <input type="checkbox"/> 広域連携 <input type="checkbox"/> 事業連携 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> その他 医療提供体制を整えるうえで、町立病院として、必要であって、同時に経営面からみても妥当な指標である。

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input type="checkbox"/> 改革 <input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
<p>■維持継続</p>		
説明	<p>医療提供体制を整えるうえで、町立病院の診療体制の維持・継続は必須となる。そのために必要となる対策を積極的に実施していく。</p>	

事業名：地域づくり支援事業の充実

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
1.医療提供体制の充実	成果指標	常勤医師数	8人	7人			令和元年度については、町立南伊勢病院5人、南島メディカルセンター2人の計7名であるが、安定的な医療を提供するため、8名の確保を目標とする。		②継続
	活動指標								
2.町立南伊勢病院の経営健全化と地域治療拠点病院としての機能の充実	成果指標	診療科目数	12科	12科			町立南伊勢病院7科目（内科、整形外科、小児科、脳神経内科、外科、皮膚科、眼科）、南陽メディカルセンター5科目（内科、整形外科、脳神経内科、眼科、泌尿器科）の計12科目となっているので、現在の診療科目を維持する。		②継続
	活動指標								
3.災害医療体制整備	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
				合計					

事業管理シート R1 年度事業計画

事業名	医療提供体制の充実	事業コード	421-①	担当課名	子育て・福祉課
				担当者名	川村真智子
1. 事業概要	会計名	一般会計	科目名(目)	保健衛生総務費 病院費	
施策名	地域医療の確立			施策コード	421
戦略力以外の位置づけ	③V字回復戦略を下支えするために取り組む事業				
施策の貢献度	H30年	50%	R1年度	50%	
事業意図	交付金、協力金の負担により地域医療の維持確保に努めていく。病院事業に伴う経費の一部について、一般会計からの負担金を財源とすることにより、事業の安定化を図る。				
事業内容 (R1年度)	伊勢地区歯科医師会と連携し、歯科保健医療対策の継続のため、負担金の支出。 伊勢地区医師会が行う休日夜間診療所での一次救急医療の継続のため、負担金の支出。 自治体病院開設者協議会の運営の継続のため、負担金の支出。 病院群輪番制病院に負担金を支払うとともに、二次三次救急医療を担う伊勢赤十字病院などへの患者受け入れや後方支援の協力要請。 三重県救急医療情報システムを活用して夜間救急医療機関の案内などのための負担金の支出。 町立病院へ一般会計から病院事業会計に繰り出し金を支払う。 公設民営で開設し、指定管理者である厚生連に対し政策的医療交付金として40,000千円の交付とともに、前年損失額の1/2の交付。				
関連法規等	南伊勢町政策的医療交付金交付要綱				
個別計画 (計画期間)	南島メディカルセンターの指定管理者による管理に関する基本協定書 (平成23年度～平成33年度)				

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額	354,545				
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A	349,093				
経常的経費 B	5,452				
決算額	370,217				

3. R1 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押し更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計	354,545			130,351	224,194
政策的経費 A	0				
政策的経費 B	0				
経常的経費 A	349,093			127,751	221,342
経常的経費 B	5,452			2,600	2,852
新規事業 (再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重点事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの
 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費 (人件費、公債費、扶助費)、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値 (実績値)	
	H30	R1	R2
成果			
「かかりつけ医を町内医療機関に持っている」と回答した人の割合	—	30 (51.3%)	32%

5. R1 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること	
外部環境	<p>【機会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近隣には高度急性期機能を担う病院があり連携し、救急医療体制が整備されてきている。 <p>【脅威】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少に伴い患者数が減少していく。 地域医療構想により伊勢志摩地区の病院の機能分化と連携が進んでおり、その影響を受けて町立病院や南島メディカルセンターの患者確保が難しくなる。
内部環境	<p>【強み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町立病院では訪問診療や訪問看護、訪問リハ、看取りなど在宅医療に対応できる。 町立病院は「在宅療養支援病院」として、町民の在宅療養生活を支援している。 南島メディカルセンターは通所リハ、訪問看護、看取りなど在宅医療に対応できる。 町立病院と南島メディカルセンター、行政で地域医療について検討している。 <p>【弱み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内に二次救急に対応できる病院がない。 南島メディカルセンターには、必要とされる診療科の設置が充分ではない。

R1 年度に向けての当年度 (H30) 以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

<p>【強み伸長】</p> <p>【弱み克服】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交付金や負担金の支出により地域医療の充実に寄与するなかで、少しでも支出が抑えられるよう、変動が可能な南島メディカルセンターの損失交付金を抑制する動きが必要。 <p>【脅威打破】</p> <ul style="list-style-type: none"> 南島メディカルセンターへの負担が発生する損失交付金について、少しでも損失が少なくなるよう運営問題を協議。
--

9. 来年度 (R2) 以降の事業意図と内容

<p>【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。</p> <p>南島メディカルセンターの指定管理者による管理に関する基本協定が令和4年3月31日で終了するので、協定の継続に向けた取組をおこなう。</p>

6. R1 年度の事業成果 ……R1 年度末 記入欄

<p>各関係機関と連携し、交付金、協力金を負担することで当町の地域医療の維持確保ができた。今後の、地域医療の維持確保のためには、各関係機関とさらに連携し、地域医療の確立に努めていく。</p>

7. 当年度事業 (R1) の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	①上回っている	細事業のすべてにおいて目標は達成でき、事業目標は目標を上回った。
必要性	公的関与の必要性	①今後も必要	町としての交付金、負担金を出しているため。
	役割分担の適切性	①今後も適切	各医療機関の強みを生かし、弱みを他のところでカバーできる体制づくりが必要である。
効率性	業務・サービスの改善結果	③変わらない	<input type="checkbox"/> 迅速化 <input type="checkbox"/> 平準化 <input type="checkbox"/> 低コスト化 <input type="checkbox"/> 標準化 <input type="checkbox"/> 外部委託化 <input type="checkbox"/> IT・AI 化 <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 能力向上 <input checked="" type="checkbox"/> その他 町民が安心して暮らせる医療体制づくりを行うために、各協力機関と共同で医療体制の整備に努めていく。
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後も適切	<input type="checkbox"/> 部署連携 <input type="checkbox"/> 官民連携 <input type="checkbox"/> 広域連携 <input type="checkbox"/> 事業連携 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> その他 負担金、協力金等の交付金については、今後も必要に応じ交付していく。

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input type="checkbox"/> 改革 <input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
<input checked="" type="checkbox"/> 維持継続		
説明	交付金や負担金の支出により地域医療の維持・充実に努める。	

事業名：地域づくり支援事業の充実

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
1. 地域医療の充実事業	成果指標	夜間休日診療所受け入れ率	100	100	5452	5334	【当年度の事業成果】 目標である受け入れ率 100%を達成できた。 【今後の改善の方向性】 交付金や負担金の支出により地域医療の維持・充実に努める。	伊勢地区医師会と夜間休日診療所における一次救急医療体制がとれるために負担金等支払いを行う	②継続
	活動指標	一次救急医療のための夜間休日診療所確保数	1	1					
2. 病院事業会計負担金	成果指標	南島メディカルセンター病床数	15	15	349,093	364,883	【当年度の事業成果】 入院1日平均患者数は14.0人で例年に比べ空床が目立つ月があった。そのため、入院収入も減収となった。南島メディカルセンターに南伊勢町政策的医療交付金及び、損失交付金の交付を行った 【今後の改善の方向性】 南島メディカルセンターの指定管理者による管理に関する基本協定が令和4年3月31日で終了するので、今後について町と南島メディカルセンターと検討していく。	厚生連と地域医療の提供のために役割を確認する	②継続
	活動指標	南島メディカルセンターへの交付金の交付額	40,000,000	55,789,807					
3. 地域医療についての啓発事業	成果指標	健康教室の実施回数	10	10	0	0	【当年度の事業成果】 老人会の中で希望のあった地区に対して、町立南伊勢病院の医師の講演会をおこなった。また、南島メディカルセンターの医師による住民に対する健康講話を行った。 【今後の改善の方向性】 町内医療機関の医師による健康講話等を通じ、医療機関を知る機会とする。	地域の要望を伺い、町立南伊勢病院と内容の検討、教室を実施する	②継続
	活動指標	町内の医療機関医師における健康教室の参加人数	250	268					
	成果指標								未選択
	活動指標								未選択
	成果指標								未選択
	活動指標								未選択
			合計		354,545	370,217			

事業管理シート

R1 年度事業計画

事業名	町立南伊勢病院の経営健全化と 地域医療拠点病院としての機能の 充実	事業 コード	421-②	担当課名	町立南伊勢病院
	担当者名			山本誠樹	

1. 事業概要	会計名	病院事業会計	科目名(目)		
施策名	地域医療の確立			施策コード	421
戦略力以外の位置づけ	③V字回復戦略を下支えるために取り組む事業				
施策の貢献度	R1 年	40%	R2 年度	40%	

事業意図	町立病院は小規模多機能型病院をめざし、「診療」「予防」「在宅支援」「救急」「災害対応」「地域医療教育」の6つの機能を充実させます。
------	---

事業内容 (R2 年度)	<input type="checkbox"/> 他の医療機関との連携を強化する <input type="checkbox"/> かかりつけ医として総合的な診療機能を維持継続する <input type="checkbox"/> 医療介護連携を強化する <input type="checkbox"/> 在宅医療を強化する <input type="checkbox"/> 研修医の受け入れを強化する。
-----------------	--

関連法規等	
-------	--

個別計画 (計画期間)	町立南伊勢病院改革プラン（2019 年度～2023 年度）
----------------	-------------------------------

2. 予算決算額の推移（千円）

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
決算額					

3. R2 年度事業費予算内訳（千円） ※事業費は F9 を押して更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
新規事業（再掲）	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重点事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外

のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費（人件費、公債費、扶助費）、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値（実績値）	
	H30	R1	R2
成果			
町立病院の			
① 常勤医師数	① 5人	① 5人	① 5人
② 診療科目数	② 7科	② 7科	② 7科

5.R2 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること		
外部環境	【機会】	【脅威】
	1.近隣には高度急性期機能を担う病院があり連携し、救急医療体制が整備されてきている。 5.6.7.三重大学をはじめ伊勢日赤や厚生連、また三重県などの人的支援が受けられる。	2.4.高齢化に伴いなんらかの病気をもちながら在宅で介護サービスを利用しながら生活をしている人が多くなっていく。 3.人口減少に伴い患者数が減少していく。 3.地域医療構想により伊勢志摩地区の病院の機能分化和連携が進んでおり、その影響を受けて町立病院や南島メディカルセンターの患者数の確保が難しくなる。 8.9.南海トラフを震源とする巨大地震、大津波の発生により多くの被災者が出る事が予想される。
内部環境	【強み】	【弱み】
	2.町立病院では訪問診療や訪問看護、訪問リハ、看取りなど在宅医療に対応できる。 2.町立病院は「在宅療養支援病院」として、町民の在宅療養生活を支援している。 2.南島メディカルセンターは通所リハ、訪問看護、看取りなど在宅医療に対応できる。 2.町立病院と南島メディカルセンター、行政で地域医療について検討している。 5.町立病院には、内科、脳神経内科、整形外科、外科、皮膚科、小児科、眼科など総合的な診療機能がある。 8.町立病院は高台に移転した。	1.町内に二次救急に対応できる病院がない。 3.町内の医療機関の役割分担や連携（病診連携）が進んでいない。 4.町立病院と南島メディカルセンターには、必要とされる診療科の設置が充分でない。 6.7.町立病院は派遣医師に頼るところが大きく継続性に不安がある。 9.町内には災害時に備えた医療受援体制が整っていない。

R2 年度に向けての当年度（R1）以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

<p>【強み伸長】内科、脳神経内科、整形外科、外科、皮膚科、小児科、眼科など診療科目を充実させ、受信患者の確保を図っていくことが求められます。</p> <p>【弱み克服】三重大学等の支援を受ける形で診療科目（眼科）が新設されました。</p> <p>【弱み克服】三重県や三重大学などの支援を受け、医師の確保対策に努めています。</p>
--

9.来年度（R2）以降の事業意図と内容

<p>【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。</p> <p>【改善】 地域医療拠点病院として町立病院の診療体制の維持・継続は必須となる。そのために必要となる対策を積極的に実施していく。特に令和3年度以降は町立病院と南島メディカルセンターとの連携と役割分担について具体的検討を進める。</p>
--

6.R1 年度の事業成果

<p>・・・R1 年度末 記入欄</p>

7.当年度事業（R1）の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	③ ②計画通り	地域医療の拠点としての町立病院において、健全な運営の下で必要な医師数・診療科数を維持できた。
必要性	公的関与の必要性	① ①今後とも必要	公立病院として不採算医療を担うためには、町の財政支援は不可欠である。
	役割分担の適切性	① ①今後とも適切	地域医療を継続していくために、行政と病院がそれぞれの役割をきちんと担っていくことが大切である。
効率性	業務・サービスの改善結果	③変わらない	<input type="checkbox"/> 迅速化 <input type="checkbox"/> 平準化 <input type="checkbox"/> 低コスト化 <input type="checkbox"/> 標準化 <input type="checkbox"/> 外部委託化 <input type="checkbox"/> IT・AI 化 <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 能力向上 <input type="checkbox"/> その他 新病院での運営が始まったところであり、改善についての具体的な検討はこれから行っていくこととなる。
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後とも適切	<input type="checkbox"/> 部署連携 <input type="checkbox"/> 官民連携 <input type="checkbox"/> 広域連携 <input type="checkbox"/> 事業連携 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> その他 必要な医療を、健全運営の下で提供するための体制（常勤医師数及び診療数）の継続を指標として取り組んでいるため適切であると評価するが、今後において町民にとって必要な医療の検討は継続していきたい。

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input type="checkbox"/> 改革 <input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input type="checkbox"/> 効率化 ■その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与と低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
説明	■維持継続	
	地域医療拠点病院として町立病院の診療体制の維持・継続は必須となる。そのために必要となる対策を積極的に実施していく。	

事業名：地域づくり支援事業の充実

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R2の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
1. 医療提供体制の充実	成果指標								②継続
	活動指標								
2. 町立南伊勢病院の経営健全化と地域治療拠点病院としての機能の充実	成果指標	常勤医師数 診療科目数	5人 7科	5人 7科			町立南伊勢病院の現在の常勤医師数（5人）と診療科目（内科、整形外科、小児科、脳神経内科、外科、皮膚科、眼科）を維持する	三重県 医療計画・医師確保計画等による医師の確保に向けた調整	②継続
	活動指標								
3. 災害医療体制整備	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
			合計						

事業管理シート R1年度事業計画

事業名	災害医療体制整備	事業コード	421-3	担当課名	町立南伊勢病院
				担当者名	山本誠樹

1. 事業概要	会計名	病院事業会計	科目名(目)	
施策名	地域医療の確立			施策コード
	421			
戦略的取組	③V字回復戦略を下支えるために取り組む事業			
施策の貢献度	R1年	10%	R2年度	10%

事業意図	大規模災害発生時の医療提供体制を関係機関で検討します。
------	-----------------------------

事業内容 (R2年度)	町立病院が災害対応病院として機能するよう (1) 医薬品等の備蓄や電源・給水の停止に備えるべく対応策を検討します (2) BCPを作成し、訓練します。 (3) 圏域で開催される災害医療訓練に参加し、情報把握・伝達などの手法を検討します(新型コロナウイルス感染防止対策のため、訓練が実施される予定が立っていません)
-------------	---

関連法規等	
-------	--

個別計画 (計画期間)	町立南伊勢病院改革プラン(2019年度～2023年度)
-------------	-----------------------------

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
決算額					

3. R2年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費はF9を押しして更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
新規事業 (再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重要事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費(人件費、公債費、扶助費)、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値(実績値)		
	H30	R1	R2	
成果	① 常勤医師数	① 8人	① 8人	① 8人
	② 診療科目	② 12科	② 12科	② 12科
	③ かかりつけ医を町内医療機関に持っている	③ 30%	③ 32%	③ 34%

5. R2年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること		
外部環境	【機会】 1. 近隣には高度急性期機能を担う病院があり連携し、救急医療体制が整備されてきている。 5. 6. 7. 三重大学をはじめ伊勢日赤や厚生連、また三重県などの人的支援が受けられる。	【脅威】 2. 4. 高齢化に伴いなんらかの病気をもちながら在宅で介護サービスを利用しながら生活をしている人が多くなっていく。 3. 人口減少に伴い患者数が減少していく。 3. 地域医療構想により伊勢志摩地区の病院の機能分化と連携が進んでおり、その影響を受けて町立病院や南島メディカルセンターの患者数の確保が難しくなる。 8. 9. 南海トラフを震源とする巨大地震、大津波の発生により多くの被災者が出る事が予想される。
	内部環境	【強み】 2. 町立病院では訪問診療や訪問看護、訪問リハ、看取りなど在宅医療に対応できる。 2. 町立病院は「在宅療養支援病院」として、町民の在宅療養生活を支援している。 2. 南島メディカルセンターは通所リハ、訪問看護、看取りなど在宅医療に対応できる。 2. 町立病院と南島メディカルセンター、行政で地域医療について検討している。 5. 町立病院には、内科、脳神経内科、整形外科、外科、皮膚科、小児科、眼科など総合的な診療機能がある。 8. 町立病院は高台に移転した。

R2年度に向けての当年度(R1)以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

【脅威打破】南海トラフを震源とする巨大地震、大津波の発生に対応できる災害対応病院としての施設整備および医療体制の確立が急務となっています。
【弱み克服】町立病院では、町と連携して南海トラフの被害想定を把握し、医療受援体制を整えていく必要があります。また、非常時にも迅速に対応できるよう業務継続計画(BCP)を策定し、訓練を強化していく必要があります。

9. 来年度(R2)以降の事業意図と内容

【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。
【改善】 大規模災害の発生が見込まれる中、医療受援体制を整えることは、地域医療の重要な一面であるため、対応策の検討と訓練による経験値の向上、計画の見直しを繰り返していく。

6. R1年度の事業成果

・・・R1年度末 記入欄

7. 当年度事業(R1)の総合評価

事業の成果	評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況 ③やや下回っている	災害対応病院としての施設整備および医療体制の確立が必要である
必要性	公的関与の必要性 ① ①今後とも必要	災害対応病院としての施設整備および医療体制の確立が必要である
	役割分担の適切性 ① ①今後とも適切	町の災害対策の中で、町立病院が災害対応病院としての役割を担うことは不可欠である。
効率性	業務・サービスの改善結果 ④効率性が下がった	☐迅速化 ☐平準化 ☐低コスト化 ☐標準化 ☐外部委託化 ☐IT・AI化 ☐民間活用 ■能力向上 ☐その他 病院移転のため災害対策委員会や訓練が実施できなかった。
有効性	指標や取り組みの妥当性 ①今後とも適切	☐部署連携 ☐官民連携 ☐広域連携 ☐事業連携 ☐サービス向上 ☐その他 災害対応病院としての施設整備および医療体制の確立が必要である

8. 今後の事業の方向性

方向性	☐革新 ☐改革 ■改善	☐重点化 ☐新規 ☐拡充 ☐縮小 ☐関連事業と統合 ☐対象・意図の見直し ☐指標見直し ☐内容見直し ☐補助事務化 ☐受益者負担の適正化 ☐外部委託導入・拡大・縮小 ■連携・協働実施 ☐効率化 ☐その他
	☐廃止	☐目的達成 ☐町民ニーズ低下 ☐民間移管 ☐町関与と低下 ☐他事業で代替 ☐事業効果低下
説明	☐維持継続	
	大規模災害の発生が見込まれる中、医療受援体制を整えることは、地域医療の重要な一面であるため、対応策の検討と訓練による経験値の向上、計画の見直しを繰り返していく。	

事業名：地域づくり支援事業の充実

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R2の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
1.医療提供体制の充実	成果指標						。		②継続
	活動指標								
2.町立南伊勢病院の経営健全化と地域治療拠点病院としての機能の充実	成果指標						。		②継続
	活動指標								
3.災害医療体制整備	成果指標	災害対策マニュアル・各部アクションカードの作成					外部識者（災害医療指導医）も参加いただいた災害対策委員会において院内の対応の仕方を具体的な検討をすすめていく。		未選択
	活動指標	災害対策委員会の開催（毎月）							
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
			合計						

事業管理シート		R1 年度事業計画			
事業名	健幸教育と保健予防の充実事業	事業コード	422-①	担当課	子育て・福祉課
				担当者	川村真智子
1. 事業概要	会計名	一般会計	科目名(目)	予防費	
施策名	健康づくりの推進			施策コード	422
戦略力以外の位置付	①V字回復戦略として最重点に取り組む事業				
施策の貢献度	H30年	50%	R1年度	50%	
事業意図	町民誰もが、健康的な習慣を身につけ、心身ともに健康で元気に暮らせるよう健康づくり（食生活改善事業、自殺予防対策事業、歯科保健事業）に取り組む環境整備をすすめる。				
事業内容 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病の予防・改善が図られ病気になる健康な生活習慣が身につくよう、乳幼児から高齢者までを対象に栄養教室・栄養指導を実施する。 自殺予防について啓発活動を行う。また自殺対策計画を策定している。 老後の体力及び健康の増進を図る（高齢者口腔総合健康診査等）。 健康増進事業については、定期的な成人健康相談を継続していく。 歯科保健事業については、みんな歯っぴいの会を中心に、実施していく。また、妊婦歯科健診、歯周病検診についても、一人でも多くの方に受けていただけるよう啓発を行う。 				
関連法規等	健康増進法				
個別計画 (計画期間)	南伊勢町町民健康づくり計画中間評価（2019年度～2024年度）				

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額	3,007				
政策的経費 A	615				
政策的経費 B					
経常的経費 A	565				
経常的経費 B	1,827				
決算額	2137				

3. R1 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押して更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計	3,007	711		565	1731
政策的経費 A	615				615
政策的経費 B	0				
経常的経費 A	565			565	
経常的経費 B	1,827	711			1,116
新規事業 (再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重点事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費（人件費、公債費、扶助費）、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名		現状値	目標値 (実績値)	
		H30	R1	R2
成果	健康マイレージの参加率	0.5%	5% (1.4%)	7.5%

5. R1 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること	
外部環境	<p>【機会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食生活改善推進委員が活動している。 運動やレクレーションを中心とした教室を開催している。 保護者、保育所、歯科医が連携して子どもの虫歯対策に取り組む仕組みがある。【みんな歯っぴいの会】 <p>【脅威】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少が進み高齢化率が高く、高齢化に伴いなんらかの病気をもちながら生活している人が多くなっていく。 一定数の自殺者がある。
内部環境	<p>【強み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の健康状態を「よい」「まあよい」と答えている人が 8 割いる。 乳幼児の虫歯保有者は減少してきている。 計画を立て、自殺防止対策を検討している。 <p>【弱み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食生活や運動をはじめ健康的な習慣を持っている人は少なく、生活習慣の見直しができている人が多い。 正しい食習慣が身につけていない人が多い。 定期的な運動習慣がない人が多い。

R1 年度に向けての当年度 (H30) 以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

<p>【強み伸長】</p> <p>【弱み克服】福祉課だけでなく関係課、関係機関と協働することでより成果が期待できるため、協力体制を強化していく。</p> <p>【脅威打破】</p>

9. 来年度 (R2) 以降の事業意図と内容

<p>【改善】【改革】【革新】の別に記載すること</p> <p>【改善】健康マイレージ事業の参加率向上の取組として「福祉ふれあい広場」で参加者に抽選会を行ない景品を渡していたが、若い世代の参加者が低いため、令和 2 年度より参加者のチャレンジ項目を見直し、内容を充実させるとともに、地区対抗を取り入れ参加者の向上につなげていく。</p>
--

6. R1 年度の事業成果 ……R1 年度末 記入欄

各教室や、相談事業など目標に近いだけ実施しているが、参加者は目標に届かない状況であった。
--

7. 当年度事業 (R1) の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	③やや下回っている	全ての細事業について下回っている。
必要性	公的関与の必要性	①今後も必要	実施主体が各団体であるものもあるが、町として事業を進めていく必要がある。
	役割分担の適切性	①今後も適切	現在の役割分担で問題なく、今後協力しながら続けていく。
効率性	業務・サービスの改善結果	③変わらない	<input type="checkbox"/> 迅速化 <input type="checkbox"/> 平準化 <input type="checkbox"/> 低コスト化 <input type="checkbox"/> 標準化 <input type="checkbox"/> 外部委託化 <input type="checkbox"/> IT・AI 化 <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 能力向上 <input checked="" type="checkbox"/> その他 健康マイレージについてはサービスの改善は行われたが、他の細事業については、特に変わらない。
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後も適切	<input type="checkbox"/> 部署連携 <input type="checkbox"/> 官民連携 <input type="checkbox"/> 広域連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業連携 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> その他 取組、指標については今後も継続していく。

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input type="checkbox"/> 改革 <input checked="" type="checkbox"/> 改善	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
説明	<input type="checkbox"/> 維持継続 健康づくりのきつくと考えられる、健康マイレージの参加率を向上させるため PR 活動を行う。	

事業名：地域づくり支援事業の充実

10. 事業を構成する細事業内容

□6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
1. 栄養推進事業	成果指標	食生活改善推進協議会伝達講習会参加者数	330	237	98	80	【当年度の事業成果】 ○食生活改善推進協議会伝達講習会などの実施や、広報紙による啓発活動、情報提供の実施など、健康に関心が持てるよう活動を行った。 【今後の改善の方向性】 ○町民の健康維持に繋がる事業を展開していく。	食生活改善推進員と食生活推進員の活動時に、内容の指導・支援、情報提供、資料作成、広報誌による情報提供	②継続
	活動指標	食生活改善推進協議会伝達講習会回数	15	14					
2. 歯科保健事業	成果指標	3歳児のむし歯有病者率	20	18	1,035	636	【当年度の事業成果】 ○妊婦、幼児（1歳となる誕生日の月初めから3歳となる誕生日の月終わりまでに4回）、高齢者等の対象年齢の方に無料の歯科健診を実施する。未受診者に対し、勧奨通知を送付した。 【今後の改善の方向性】 ○歯周病検診の対象年齢を広げ（20・25・30・35・70歳）、健診の機会を増やしていくよう、伊勢地区医師会、他市町との調整を行った。 ○一人でも多くの方に受けていただけるよう啓発を行う。	町内歯科医院、伊勢地区歯科医師会と対象年齢の見直し、受診勧奨を行った	②継続
	活動指標	歯科保健に関する情報伝達回数	12	11					
3. 健康づくり推進事業	成果指標	健康マイレージ参加率	5	1.4	788	735	【当年度の事業成果】 ○各機会をとらえ、健康マイレージについて啓発を行った。 【今後の改善の方向性】 ○啓発活動を行い、健康マイレージの参加率を上昇させる。	区長会、老人会、各事業等に周知、啓発を行った。	②継続
	活動指標	健康マイレージ啓発回数成	6	11					
4. 健康増進事業	成果指標	成人・精神相談実施人数	300	48	1,086	686	【当年度の事業成果】 ○各関係機関と連携しながらケースワークを行った。また、福祉まつりや介護予防教室、広報等において、相談機関等の啓発を行った。 【今後の改善の方向性】 ○情報提供、啓発活動を行う。	こころの健康センター、伊勢保健所、計画相談事業所、障がい担当者とケースワーク、啓発活動を行った。	②継続
	活動指標	人健康相談実施回数	12	8					
	成果指標								未選択
	活動指標								未選択
			合計		3,007	2,137			

事業管理シート

R1 年度事業計画

事業名	疾病の予防と早期発見事業	事業コード	422-②	担当課名	子育て・福祉課
				担当者名	川村真智子
1. 事業概要	会計名	一般会計	科目名(目)	予防費	
施策名	健康づくりの推進			施策コード	422
戦略力以外の位置付	③V字回復戦略を下支えするために取り組む事業				
施策の貢献度	H30年	30%	R1年度	30%	
事業意図	町民誰もが、健康的な習慣を身につけ、心身ともに健康で元気に暮らせるようにする。				
事業内容 (R1年度)	・がん検診の受診しやすい環境を作り、また、自分の健康に関心を持っていただくように啓発を行い、検診受診率の向上を目指す。 ・30歳代からの若い方の検診を実施することで、受診のきっかけづくりから習慣づくりを行う。				
関連法規等	健康増進法				
個別計画 (計画期間)					

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額	17,417				
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B	17,417				
決算額	15,123				

3. R1 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押して更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計	17,417			2,484	14,933
政策的経費 A	0				
政策的経費 B	0				
経常的経費 A	0				
経常的経費 B	17,417			2,484	14,933
新規事業 (再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重要事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費 (人件費、公債費、扶助費)、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値 (実績値)	
	H30	R1	R2
成果	66.8 (2017年度数値)	68 (79.9)	70

5. R1 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること	
外部環境	<p>【機会】</p> <p>・会場の広さなどから、一度に複数のがん検診を同時に実施できる場所は限られている。</p> <p>・集団検診は、検診の種類によって受診できる人数制限があり、希望の場所で受けられない場合がある。</p> <p>【脅威】</p> <p>・受診率向上のため、健診・がん検診により関心を持ってもらう必要がある。</p> <p>・若い方 (30 歳代) の健診受診を呼びかけているが、受診率が低い。</p> <p>・個別検診において、要精密検査となった方の受診の有無などを把握しきれない。</p> <p>・個別健診について、精密検査の結果が把握できる体制の構築を図る。</p>
内部環境	<p>【強み】</p> <p>【弱み】</p> <p>・がん検診の受診しやすい環境を作り、また、自分の健康に関心を持っていただくように啓発を行い、検診受診率の向上を目指す。</p> <p>・30歳代からの若い方の検診を実施することで、受診のきっかけづくりから習慣づくりを行う。</p> <p>・個別・集団がん検診に限らず、受診率の向上及び精密検査の受診率が 100%ではないので 100%を目指して受診勧奨を行う。</p>

R1 年度に向けての当年度 (H30) 以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

<p>【強み伸長】</p> <p>【弱み克服】・30歳代からの若い方の検診を実施することで、受診のきっかけづくりから習慣づくりを行う。</p> <p>【脅威打破】・がん検診の受診しやすい環境を作り、また、自分の健康に関心を持っていただくように啓発を行い、検診受診率の向上を目指す。</p>
<p>個別・集団がん検診に限らず、受診率の向上及び精密検査の受診率が 100%ではないので 100%を目指して受診勧奨を行う。</p>

9. 来年度 (R2) 以降の事業意図と内容

<p>【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。</p> <p>・がん検診の受診しやすい環境を作り、また、自分の健康に関心を持っていただくように啓発を行い、検診受診率の向上を目指す。</p> <p>・30歳代か健診を行うことで若い世代の方に、健康に関心をもつきっかけとし、健康習慣を身につけるきっかけづくりを行う。</p> <p>・個別・集団がん検診に限らず、精密検査の受診率は向上したが 100%ではないので 100%を目指して受診勧奨を行う。</p>
--

・・・R1 年度末 記入欄

6. R1 年度の事業成果

<p>個別のがん検診後の精密検査の受診勧奨が十分でなかったため、今年度は電話勧奨等を実施し、受診率向上に努めた。今後は、集団がん検診受診の方の精密検査の受診勧奨が行えていないので R2 年度は受診勧奨を行っていく。</p>

7. 当年度事業 (R1) の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	①上回っている	昨年度より受診率が向上しているため目標を達成できた。
必要性	公的関与の必要性	①今後も必要	がん検診は自己負担もあるが、公費負担があることでより受診しやすいと考えるため。
	役割分担の適切性	①今後も適切	役割分担として、医療機関に協力していただき実施しているので適切とした。
効率性	業務・サービスの改善結果	②やや効率化できた	<input type="checkbox"/> 迅速化 <input type="checkbox"/> 平準化 <input type="checkbox"/> 低コスト化 <input type="checkbox"/> 標準化 <input type="checkbox"/> 外部委託化 <input type="checkbox"/> IT・AI 化 <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 能力向上 <input type="checkbox"/> その他 昨年より受診率は下がっているが、受診率を求める対象者を変更したためであるが、精密検査受診率についてのサービスは最善され、結果が出たため効率できたとした。
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後も適切	<input type="checkbox"/> 部署連携 <input type="checkbox"/> 官民連携 <input type="checkbox"/> 広域連携 <input type="checkbox"/> 事業連携 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> その他 目標を上回ったため、今後も今年の取り組みを続けていく。

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input type="checkbox"/> 改革 <input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
<input checked="" type="checkbox"/> 維持継続		
説明	・がん検診の受診しやすい環境を作り、また、自分の健康に関心を持っていただくように啓発を行い、検診受診率の向上を目指す。 ・30歳代からの若い方の検診を実施することで、受診のきっかけづくりから習慣づくりを行う。	

事業名：地域づくり支援事業の充実

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
1. 各種がん等 検診（健診） 事業	成果指 標	5がん（胃・肺・大腸・子宮・乳）が ん検診の受診率（平均）	21	7.6	16766	14778	【当年度の事業成果】 ○集団がん検診を総合がん検診とし効率的に推進できた。 ○20歳の女性方への子宮がん検診、40歳の方へ胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん検診の無料クーポン券を発行することにより、受診のきっかけづくりを行った。 【今後の改善の方向性】 ○受診率向上のため、がん検診により関心を持ってもらう必要がある。	検診を受けやすい体制を整えるために町内医療機関、三重県健康管理事業センターと調整をした。	②継続
	活動指 標	広報みなみいせ、生活カレンダー、広 報（放送）での啓発回数	8	7					
2. 30歳代の 健診事業	成果指 標	30歳代の健診受診率	10	4.0	651	345	当年度の事業成果] ○30歳代からの若い方の健診を実施することで、生活習慣の見直しのきっかけ作りを行った。 【今後の改善の方向性】 ○受診率向上、生活習慣病予防のため、健診に関心を持ってもらう必要がある。	医療機関と連携し、周知を行った。	②継続
	活動指 標	30歳代の健診事業の啓発回数	4	4					
	成果指 標								未選択
	活動指 標								
	成果指 標								未選択
	活動指 標								
	成果指 標								未選択
	活動指 標								
	成果指 標								未選択
	活動指 標								
			合計		17,417	15,123			

事業管理シート		R1 年度事業計画			
事業名	感染症対策の推進	事業コード	422-③	担当課名	子育て・福祉課
				担当者名	川村真智子
1. 事業概要	会計名	一般会計	科目名(目)	予防費	
施策名	健康づくりの推進			施策コード	422
戦略力以外の位置付	③V字回復戦略を下支えするために取り組む事業				
施策の貢献度	H30年	20%	R1年度	20%	
事業意図	町民誰もが、病気になるように、また重症化しないように、感染症予防を目的に予防接種率の向上を目指す。感染症に関する正しい知識の普及や予防接種事業などを充実します。				
事業内容(R1年度)	予防接種法に基づき実施している。また、感染予防、重症化予防のために、任意のワクチンについても費用助成を行い、接種しやすい環境を整えている。各機関と連携をとる。				
関連法規等	予防接種法				
個別計画(計画期間)	新型インフルエンザ行動計画				

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額	32,263				
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B	32,263				
決算額	26,865				

3. R1 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押して更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計	32,263	2,008		16,162	14,093
政策的経費 A	0				
政策的経費 B	0				
経常的経費 A	0				
経常的経費 B	32,263	2,008		16,162	14,093
新規事業(再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重点事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費(人件費、公債費、扶助費)、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値(実績値)		
	H30	R1	R2	
成果	A類予防接種の接種率	59.7	60 (63.2)	65

5. R1 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること	
外部環境	<p>【機会】</p> <ul style="list-style-type: none"> あらゆる機会を利用し、対象者及び、保護者に対して予防接種について考えていただく機会を作る。 <p>【脅威】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内にかかりつけ医が少ない人が多い。(定期 A 類) 高齢者や子供は感染症による疾病が重症化することがある。 里帰り出産等で、標準的な接種時期に県内の医療機関で予防接種を受けられず、全額自己負担で接種する場合がある。
内部環境	<p>【強み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 予防接種や感染症予防などを推進している。 <p>【弱み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 予防接種について、十分理解した上で接種できるように情報を伝えていく。

R1 年度に向けての当年度 (H30) 以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

<p>【強み伸長】</p> <p>【弱み克服】・定期 A 類予防接種の接種率 100% に近づけるために、対象者・保護者に対する啓発を行っていく。</p> <p>【脅威打破】</p> <p>・里帰り出産、入院等のやむを得ない理由により県外の医療機関等において A 類疾病に係る予防接種を受ける場合に、その費用の一部または全部を助成する。</p>
--

9. 来年度 (R2) 以降の事業意図と内容

<p>【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。</p> <p>予防接種法に基づき実施する。また、感染予防、重症化予防のために、任意のワクチンについても費用助成を行い、接種しやすい環境を整える。各機関と連携をとる、接種率の向上に努めた。今後は、R1 年度からの 3 か年実施である第 5 期の風疹の抗体検査及び予防接種の受診率、接種率の向上に努める。</p>
--

6. R1 年度の事業成果

・・・R1 年度末 記入欄

<p>今年度から、風疹の予防接種の第 5 期が開始され、抗体検査の結果、抗体価が低い方へのみ、予防接種をしているが、抗体検査の受診者数も少なく、風疹の予防接種の接種者も少ない。すでに、風疹に罹患したり、抗体検査を行っている方は、抗体検査の対象外になるので、対象者数を把握することは難しいが、風疹の第 5 期についての周知を今後もしていく必要がある。</p>
--

7. 当年度事業 (R1) の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	①上回っている	細事業に③に関して目標は下回っているが、定期接種である細事業①に関しては目標値を上回っている为上回っていると評価した。
必要性	公的関与の必要性	①今後も必要	細事業①に関して自己負担はなく、④に関しても町が中心となり実施していく必要があるため今後も必要とした。
	役割分担の適切性	①今後も適切	現在の役割分担で問題はなく、今後も継続していく。
効率性	業務・サービスの改善結果	③変わらない	<input type="checkbox"/> 迅速化 <input type="checkbox"/> 平準化 <input type="checkbox"/> 低コスト化 <input type="checkbox"/> 標準化 <input type="checkbox"/> 外部委託化 <input type="checkbox"/> IT・AI 化 <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 能力向上 <input type="checkbox"/> その他 細事業①について、以前から啓発など機会あることの行っているため変わらないとした。
			<input type="checkbox"/> 部署連携 <input type="checkbox"/> 官民連携 <input type="checkbox"/> 広域連携 <input type="checkbox"/> 事業連携 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> その他 予防接種法上実施していることもあるが、町独自で実施していることため今後も適切とした。
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後も適切	

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input type="checkbox"/> 改革 <input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与と低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
<p>■維持継続</p>		
説明	<p>・国の制度改革に対する的確に対応し、住民に不利益が生じないように努めるとともに、予防接種に関しては個別勧奨と啓発を効率的に行うことで必要な方に正しく予防接種を受けていただくよう努める。</p> <p>・里帰り出産、入院等のやむを得ない理由により県外の医療機関等において A 類疾病に係る予防接種を受ける場合に、その費用の一部または全部を助成する。</p>	

事業名：地域づくり支援事業の充実

10. 事業を構成する細事業内容

□6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
1. 各種予防接種事業	成果指標	A 類予防接種の接種率	60	63.2	28,628	23,416	【当年度の事業成果】 必要な方には個別の勧奨を行うことで接種率が上がった。 【今後の改善の方向性】 国の制度改正に対する的確に対応し、住民に不利益が生じないよう努める	医療機関、教育委員会、保育所など受診勧奨できる機会には受診勧奨を行う	②継続
	活動指標	説明会、広報みなみいせ、個人通知などの取組み回数（のべ）	6	6					
2. 予防接種健康被害救済事業	成果指標	救済件数	1	1	2678	2700	【当年度の事業成果】 予防接種によって、健康被害を受けられた方に対し給付を行った。 【今後の改善の方向性】 予防接種によって、健康被害を受けられた方に対して継続も含めて救済を行う	該当者の方、家族の方と連絡を取り合い、救済について行っていく	②継続
	活動指標	給付件数	1	1					
3. 任意ワクチン予防接種事業	成果指標	インフルエンザワクチンの接種率	40	44.9	425	225	【当年度の事業成果】 予防接種を行った個人に対し費用を助成するとともに、広報みなみいせ、個人通知、保育所、学校との連携により予防接種の周知を行う。 【今後の改善の方向性】 全ての助成対象者に周知を行えるように、広報みなみいせなど、機会をとらえて周知を行う。	保育所、子育て支援センター、妊娠届出時など機会をとらえて周知を行う。	②継続
	活動指標	広報みなみいせなどによる啓発回数（のべ）	2	2					
4. 新型インフルエンザ等対策事業	成果指標	新型インフルエンザ等感染症対策物品購入確認回数	1	1	532	524	【当年度の事業成果】 新型インフルエンザ等の感染症に対するの備蓄品の購入を行った 【今後の改善の方向性】 対策物品の品質保持期間は概ね2～3年と短いため、購入物品の再検討を行う。また、新型コロナウイルス感染症に対するの備蓄品および、数の検討を行い購入していく	町立南伊勢病院に助言をしていただきながら、新型インフルエンザに備えて備蓄品を購入した	②継続
	活動指標	新型インフルエンザ対策物品国入回数	1	1					
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
			合計		32,263	26,865			

事業管理シート

R1 年度事業計画

事業名	国民健康保険事業の適正な運用		事業コード	423-1	担当課名	税務住民課
					担当者名	濱地真奈美
1. 事業概要	会計名	国民健康保険特別会計	科目名(目)			
施策名	社会保障の健全な運営			施策コード	423	
戦略的以外の位置づけ	③V字回復戦略を下支えるために取り組む事業					
施策の貢献度	H30年	50%	R1年度	50%		
事業意図	○全ての対象者が遅滞なく国民健康保険税を納める。 ○被保険者が遅滞なく安定的に保険給付が受けられるようにする。 ○ジェネリック医薬品の推進などの啓発活動や医療費通知などを通して、医療費に対する関心を高めるとともに、病気の早期発見、早期治療を進めるための人間ドック健診を行うことにより被保険者の医療費を抑制したい。また生活習慣病予防対策の強化を図るため、特定健康診査、特定保健指導を充実したい。					
事業内容 (R1年度)	○収納率向上対策の推進：電話催告の継続及び新規滞納者発生防止のための現年課税分の徴収強化。 ○納付しやすい環境の整備：平日や日中に金融機関へ出向けない納税者への対策、納期内納付の確保に向けた口座振替制度の勧奨。 ○医療機関で受診した場合などの療養費の給付、自己負担が高額となった場合の高額療養費給付、出産一時金の給付、葬祭費の給付などを行う。 ○広報紙・行政チャンネル等を通じて早期発見・早期治療、人間ドック健診等の啓発活動を行う。生活習慣病予防対策の強化を図るため特定健康診査、特定保健指導を実施する。					
関連法規等						
個別計画 (計画期間)						

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
決算額					

3. R1 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押して更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
新規事業 (再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重点事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費 (人件費、公債費、扶助費)、繰出金のうち義務的

経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値 (実績値)		
		H30	R1	R2
成果	特定健康診査および人間ドック受診率	29.4%	35.0% (29.9%)	35%

5.R1 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること	
外部環境	<p>【機会】</p> <p>【脅威】</p>
内部環境	<p>【強み】</p> <p>【弱み】</p>

R1 年度に向けての当年度 (H30) 以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

--

9. 来年度 (R2) 以降の事業意図と内容

<p>【改善】 特定健康診査の受診率を増やすため、広報や CATV で周知したり、未受診者にハガキや電話で受診勧奨したがいまだ変化がみられなかったため、今後は集団健診を行ったり自己負担を無料にすることで受診率の増加を図る。</p>

6.R1 年度の事業成果

<p>ほぼ前年並みの徴収率を達成することができた。税務係の徴収対策係と連携を図り、滞納者への対策を強化した。広報や行政チャンネル、子育て・福祉課と連携を図り、健康教室等で特定健康診査に対する呼びかけを行ったが、呼びかけの時期が遅かったため受診率は伸び悩んだが、次年度においての周知には繋がった。保険給付については遅滞なく安定的に出来た。</p>
--

・・・R1 年度末 記入欄

7. 当年度事業 (R1) の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	③やや下回っている	国保事業の安定した運営を行い医療費適正化に努めた。特定健康診査受診率があまり向上しなかった。
必要性	公的関与の必要性	① ①今後とも必要	被保険者が、健康で元気に暮らせるよう、生活習慣病予防のために特定健康診査や人間ドックを行う。
	役割分担の適切性	① ①今後とも適切	町は特定健康診査等の啓発活動や助成を行い、被保険者は積極的に受診し、自らの健康を管理する。
効率性	業務・サービスの改善結果	②やや効率化できた	<input type="checkbox"/> 迅速化 <input type="checkbox"/> 平準化 <input type="checkbox"/> 低コスト化 <input type="checkbox"/> 標準化 <input type="checkbox"/> 外部委託化 <input type="checkbox"/> IT・AI 化 <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 能力向上 <input type="checkbox"/> その他 ポスターを作成し、町内医療機関やコンビニ等に掲示をお願いしたり、各地区で行っている健康教室で特定健康診査の利用を勧奨するなどして啓発活動を行った。
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後とも適切	<input checked="" type="checkbox"/> 部署連携 <input type="checkbox"/> 官民連携 <input type="checkbox"/> 広域連携 <input type="checkbox"/> 事業連携 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> その他 被保険者が健康で安心して暮らすためには、病気の早期発見・早期治療が大切で、そのためには健康診断が必要不可欠であり、子育て・福祉課と連携し、受診率向上に努めており、指標は適切である。

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input type="checkbox"/> 改革 <input checked="" type="checkbox"/> 改善	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
<input type="checkbox"/> 維持継続		
説明	特定健康診査受診率が低いので、被保険者に特定健康診査の必要性を周知し、集団健診を行うなど受診しやすい環境を提供することが必要だと思われる。	

事業名：国民健康保険事業の適正な運用

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
1. 保健衛生普及事業	成果指標	後発医薬品数量シェア	80.0%	76.2%			【当年度の事業成果】 住民の健康維持を目的に、健康マイレージ事業を実施し、住民自身が「健康づくり」に関心が持てるような取り組みを図った。また後発医薬品利用促進シールを配布した。 【今後の改善の方向性】 事業の周知不足のため、広報やCATV、また各地区で実施している健康教室等での周知方法を検討する。またKDBを活用し、生活習慣病のハイリスク層・予備軍を抽出し、福祉課保健師と共有しながら保険事業を行っていく。後発医薬品への関心を高めるよう、広報紙等でわかりやすく説明し、後発医薬品の普及促進に努める。	（国保連合会）医療機関や薬局に対する診療報酬の支払いの適正化を図るため各種データを市町に提供する。	②継続
	活動指標	後発医薬品普及促進活動回数 （広報紙、行政チャンネルの記事）	3回	3回					
2. 特定健康診査等事業	成果指標	特定健診受診率	35.0%	29.9%			【当年度の事業成果】 特定健診の受診率が低いため、未受診者全員に勧奨ハガキを送付したり、年齢を絞って電話勧奨を行うなどした。 【今後の改善の方向性】 特定健診が始まる前に、健康教室等で特定健診の必要性を周知し、受診しやすい環境づくりに努める。集団健診を行うときは、新型コロナウイルス感染症対策として、手指消毒の励行、検温の実施等を徹底する。	（被保険者）自らの健康管理のため積極的に受診する。	②継続
	活動指標	特定健診受診勧奨回数	2回	4回					
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
				合計					

事業管理シート R1 年度事業計画

事業名	後期高齢者医療制度の円滑な運用	事業コード	423-2	担当課名	税務住民課
				担当者名	濱地真奈美
1. 事業概要	会計名	後期高齢者医療特別会計	科目名(目)		
施策名	社会保障の健全な運営			施策コード	423
戦略的視点の位置づけ	③V字回復戦略を下支えするために取り組む事業				
施策の貢献度	H30年	20%	R1年度	20%	
事業意図	全ての対象者が遅滞なく後期高齢者医療保険料を納め、安定的に後期高齢者医療制度を運営していく。また最小の経費で事務の効率を維持し、還付する保険料等を誤りなく被保険者に支払うようにする。				
事業内容 (R1年度)	後期高齢者医療保険の運営を県内市町共同で運営し、広域連合に負担金を納入する。また電算システムにより事業の効率化・適正化を図り、資格業務、給付業務、徴収業務を行う。 収納率向上対策の推進 (電話催告の継続、新規滞納者発生防止のための現年課税分の徴収強化)				
関連法規等					
個別計画 (計画期間)					

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額	517,750				
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
決算額					

3. R1 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押して更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
新規事業 (再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重点事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費 (人件費、公債費、扶助費)、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値 (実績値)		
	H30	R1	R2	
成果	普通徴収 収納率	98.7	99.7 (98.1)	99.7

5. R1 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること		
外部環境	【機会】	【脅威】
	【強み】	【弱み】
内部環境		

R1 年度に向けての当年度 (H30) 以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

--

9. 来年度 (R2) 以降の事業意図と内容

【改善】 運営主体は広域連合であるが、住民と直接接する窓口業務は町となるため、高齢者に対し丁寧にわかりやすい言葉で制度を説明していく必要がある。また、本人納付 (普通徴収) の方に対して、確実な納付が見込まれる口座振替手続きの勧奨を行うようにする。
--

6. R1 年度の事業成果

電算システムにより、事業の適正化を図り、資格業務、給付業務、徴収業務などを効率的に行った。広報紙やパンフレットなどの媒体を活用して後期高齢者医療制度の情報を提供して、保険料に対する理解を深めてもらった。保険料の過誤納金を納付義務者に還付することにより事業の正確性の確保ができた。

7. 当年度事業 (R1) の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	③やや下回っている	高齢者支援課や税務係と連携し、催告の実施に取り組んだが、収納率の向上には繋がらなかった。
必要性	公的関与の必要性	① ①今後も必要	後期高齢者医療制度の概要を被保険者が理解できるように丁寧にわかりやすい言葉で説明を行う。
	役割分担の適切性	① ①今後も適切	後期高齢者広域連合は被保険者に対し、賦課や給付決定を行い、町は、各種申請受付、保険料徴収等を行い、後期高齢者制度の適正な運営に努める。
効率性	業務・サービスの改善結果	②やや効率化できた	<input type="checkbox"/> 迅速化 <input type="checkbox"/> 平準化 <input type="checkbox"/> 低コスト化 <input type="checkbox"/> 標準化 <input type="checkbox"/> 外部委託化 <input type="checkbox"/> IT・AI 化 <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 能力向上 <input type="checkbox"/> その他 被保険者が窓口相談に来庁された時は、常に丁寧な説明を心がけている。年度切替等で納付方法が変わる方には、納付忘れを防ぐため納付方法が変更になった旨の通知を納付書と同時に送付している。
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後も適切	<input type="checkbox"/> 部署連携 <input type="checkbox"/> 官民連携 <input type="checkbox"/> 広域連携 <input type="checkbox"/> 事業連携 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> その他 保険料の収納率向上は後期高齢者医療保険事業を運営するために重要である。

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input type="checkbox"/> 改革 <input checked="" type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
	<input type="checkbox"/> 維持継続	
説明	後期高齢者医療広域連合が主体となり、市町村と事務分担しながら運営を行っているため、今後も広域連合と連携しながら事業を実施していきたい。	

事業名：後期高齢者医療制度の円滑な運用

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
1. 賦課徴収業務	成果指標	普通徴収保険料収納率	99.7%	98.1%	584	566	【当年度の事業成果】 新たに被保険者となる方に対して、納付書送付の際に「保険料支払い案内」を同封し、確実な納付が見込まれる口座振替制度を推奨している。 【今後の改善の方向性】 新たに被保険者となる方に対して、一人でも多くの方に口座振替をしていただけるよう、わかりやすい説明資料と口座振替申込書を送付するなどして勧奨を行っていく。	（後期高齢者医療広域連合）被保険者に対する賦課や給付決定を行うほか、町と情報共有し制度の安定的な運用を行う。	②継続
	活動指標	口座振替件数	120	123					
	成果指標								未選択
	活動指標								未選択
	成果指標								未選択
	活動指標								未選択
	成果指標								未選択
	活動指標								未選択
	成果指標								未選択
	活動指標								未選択
				合計					

事業管理シート R1 年度事業計画

事業名	福祉医療制度の充実		事業コード	423-3	担当課名	税務住民課	担当名	濱地真奈美
1. 事業概要	会計名	一般会計	科目名(目)	福祉医療費				
施策名	社会保障の健全な運営					施策コード	423	
戦略的以外の位置付	③V字回復戦略を下支えするために取り組む事業							
施策の貢献度	H30年	30%	R1年度	30%				
事業意図	医療費助成制度を充実することにより、対象者の経済的な支援や保健の向上を図る。最小の経費で事務の効果を維持したい。							
事業内容 (R1年度)	受給者証の作成などを電算処理により自動化すると共に対象者の把握を行い、未申請者に対する相互の情報共有を行う。医療費に対し、他法令からの給付金を控除計算し医療費を給付する。							
関連法規等								
個別計画 (計画期間)								

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
決算額					

3. R1 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押して更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
新規事業 (再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重要事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費（人件費、公債費、扶助費）、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値 (実績値)		
		H30	R1	R2
成果	福祉医療費給付率	100%	100%	100%

5. R1 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること		
外部環境	【機会】	【脅威】
	【強み】	【弱み】
内部環境		

R1 年度に向けての当年度 (H30) 以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

--

9. 来年度 (R2) 以降の事業意図と内容

【改善】 広報やホームページ等で制度を周知徹底し申請を促す。対象者漏れを防ぐため出生や障がい者手帳取得者等の把握に努める。医療費に対して他法令からの給付金を間違なく控除計算し医療費を給付する。
--

6. R1 年度の事業成果

給付金の支給や、資格の管理等、適正に事務を遂行することができた。医療費助成制度を充実することにより、経済的な支援や保健向上を図った。令和元年9月1日より子ども医療費の対象年齢を拡大 (18歳年度末まで) し、経済的な支援が図った。

7. 当年度事業 (R1) の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	②計画通り	広報掲載で制度の周知を行った。また未申請者には文書や電話で勧奨し目標は達成できた。
必要性	公的関与の必要性	① ①今後も必要	受給要件等の確認作業は個人情報に基づくため町の関与は必要である。
	役割分担の適切性	①今後も適切	子育て・福祉課や住民係と連携し、対象者の把握を行い、未申請者に対する情報共有を行った。
効率性	業務・サービスの改善結果	①効率化できた	<input type="checkbox"/> 迅速化 <input type="checkbox"/> 平準化 <input type="checkbox"/> 低コスト化 <input type="checkbox"/> 標準化 <input type="checkbox"/> 外部委託化 <input type="checkbox"/> IT・AI化 <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 能力向上 <input type="checkbox"/> その他 子ども医療費ついて、対象年齢を拡大した。
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後も適切	<input type="checkbox"/> 部署連携 <input type="checkbox"/> 官民連携 <input type="checkbox"/> 広域連携 <input type="checkbox"/> 事業連携 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> その他 福祉医療制度の助成受給可能対象者すべてに医療費の一部助成を行い、対象者の負担軽減や保健の向上を目指すことから適切であった。

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input type="checkbox"/> 改革 <input checked="" type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
説明	<input checked="" type="checkbox"/> 維持継続	今年度9月診療分より、子ども医療費を18歳年度末までと対象範囲を拡大したため、医療費の増加が見込まれる。また現物給付にしたことによっても医療費の増加が見込まれるため、広報等で対象者に適正受診を促す必要がある。

事業名：福祉医療制度の充実

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
1. 福祉医療事務	成果指標	年間医療費助成対象件数	100%	100%	91,124	81,959	【当年度の事業成果】 子ども医療について対象者の年齢を18歳年度末までに拡大し、対象者の経済的負担の軽減、保健の向上、福祉の増進を図った。 【今後の改善の方向性】 子ども医療費以外の対象者についても近隣市町の状況をふまえ、更なる対象範囲拡大についても検討する必要がある。対象者の年齢拡大や高齢者増加により、医療費助成の増加が見込まれるため、対象者には医療機関への適正受診を啓発する必要がある。	(国保連合会) 福祉医療費給付事業に係る事務委託	②継続
	活動指標	受給者証交付件数	1,670	1,710					
	成果指標								未選択
	活動指標								未選択
	成果指標								未選択
	活動指標								未選択
	成果指標								未選択
	活動指標								未選択
	成果指標								未選択
	活動指標								未選択
				合計					

事業管理シート		R1 年度事業計画			
事業名	安心して飲める水道	事業コード	431-1	担当課名	上下水道課
				担当者名	丹生 順二
1. 事業概要	会計名	水道事業会計	科目名(目)	営業費用・営業外費用	
施策名	水道の安定供給			施策コード	431
戦略的視点の位置付	②V字回復戦略の波及を効果的にするために取り組む事業				
施策の貢献度	H30年	20%	R1年度	20%	
事業意図	安全でおいしい水が飲み、安定した事業経営を図る。				
事業内容 (R1年度)	水道施設の維持管理 水道施設の修繕 水道の水質管理 断水等の緊急時の対応水道施設				
関連法規等					
個別計画 (計画期間)	南伊勢町水道ビジョン				

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
決算額					

3. R1 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押して更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計					
政策的経費 A					
政策的経費 B	0				
経常的経費 A	0				
経常的経費 B					
新規事業 (再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重要事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費（人件費、公債費、扶助費）、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値 (実績値)		
		H30	R1	R2
成果	広域断水回数	4回	3回 (6回)	3回

5. R1 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること		
外部環境	【機会】	【脅威】
	【強み】	【弱み】
内部環境		

R1 年度に向けての当年度 (H30) 以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

--

9. 来年度 (R2) 以降の事業意図と内容

<p>【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。</p> <p>【改善】 早期に漏水箇所を見つけ、水道有収率向上を目指す。</p>
--

6. R1 年度の事業成果

・・・R1 年度末 記入欄

<p>未然の広域断水を防ぐため、職員の漏水調査を強化した。</p>

7. 当年度事業 (R1) の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	③やや下回っている	漏水調査を強化し漏水調査を行なった結果、計画的な広域断水が増えた。
必要性	公的関与の必要性	① ①今後も必要	水道事業の性格性から町営としての事業運営は必要である。
	役割分担の適切性	① ①今後も適切	水質管理や日常の維持管理等、民間業者との役割分担ができた。
効率性	業務・サービスの改善結果	④効率下がった	<input type="checkbox"/> 迅速化 <input type="checkbox"/> 平準化 <input type="checkbox"/> 低コスト化 <input type="checkbox"/> 標準化 <input type="checkbox"/> 外部委託化 <input type="checkbox"/> IT・AI 化 <input type="checkbox"/> 民間活用 <input checked="" type="checkbox"/> 能力向上 <input type="checkbox"/> その他 職員移動の関係により、水道事業の経験のない職員の能力の向上が図れなかった。
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後も適切	<input type="checkbox"/> 部署連携 <input type="checkbox"/> 官民連携 <input type="checkbox"/> 広域連携 <input type="checkbox"/> 事業連携 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> その他 断水回数を減らし、水道利用者へのサービス向上を図る

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input type="checkbox"/> 改革 <input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
<input checked="" type="checkbox"/> 維持継続		
説明	<input type="checkbox"/> 水道水の安定供給のための、日常の維持管理や修繕又、水質検査等を行い安全でおいしい水道水の供給を図る。	

事業名：安心して飲める水道

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
水道施設維持 管理事業	成果指標	故障による水道施設の休日日数	0	0	116,963	92,206	【当年度の事業成果】 維持管理業者と密に連絡をとり、緊急時の対応を図っている。 【今後の改善の方向性】 水道事業の経営が厳しい状況が続くと見られるため、一層のコストの縮減や機器の長寿命化を目指していく。	断水時や工事での通行 止め等の情報の共有	②継続
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
			合計		116,963	92,206			

事業管理シート		R1 年度事業計画			
事業名	災害につよい安定した水道	事業コード	431-2	担当課名	上下水道課
				担当者名	丹生 順二
1. 事業概要	会計名	水道事業会計	科目名(目)	建設改良費	
施策名	水道の安定供給			施策コード	431
戦略的視点の位置づけ	③V字回復戦略を下支えするために取り組む事業				
施策の貢献度	H30年	20%	R1年度	20%	
事業意図	災害時における水道水の確保を行なう。				
事業内容 (R1年度)	老朽管の更新工事 バイパス管敷設工事 発電設備設置工事				
関連法規等					
個別計画 (計画期間)					

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
決算額					

3. R1 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押して更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計					
政策的経費 A					
政策的経費 B	0				
経常的経費 A	0				
経常的経費 B					
新規事業 (再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重要事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費（人件費、公債費、扶助費）、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値 (実績値)		
	H30	R1	R2	
成果	広域断水回数	4回	3回 (6回)	3回

5. R1 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること		
外部環境	【機会】	【脅威】
	【強み】	【弱み】
内部環境		

R1 年度に向けての当年度 (H30) 以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

--

9. 来年度 (R2) 以降の事業意図と内容

<p>【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。</p> <p>【改善】 配水池に緊急遮断弁を設置し、災害時の飲料水の確保を目指す。</p>

6. R1 年度の事業成果 ……R1 年度末 記入欄

<p>災害時に備え、2 水源池 (五ヶ所浦第 1・泉) に発電装置の設置を行ない、自然災害時の突発的な停電による断水を防ぐ対応を行なった。また、地区間の連絡管工事を行ない、有事に相互間での水の供給を行なえるよう工事を開始した。</p>

7. 当年度事業 (R1) の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	②計画通り	2 水源池の発電装置を設置し、長時間にわたる断水を防ぐことができる。
必要性	公的関与の必要性	① ①今後も必要	水道事業の性格性から町営としての事業運営は必要である。
	役割分担の適切性	① ①今後も適切	工事業者等との役割分担ができた。
効率性	業務・サービスの改善結果	④効率下がった	<input type="checkbox"/> 迅速化 <input type="checkbox"/> 平準化 <input type="checkbox"/> 低コスト化 <input type="checkbox"/> 標準化 <input type="checkbox"/> 外部委託化 <input type="checkbox"/> IT・AI 化 <input type="checkbox"/> 民間活用 <input checked="" type="checkbox"/> 能力向上 <input type="checkbox"/> その他 職員移動の関係により、水道事業の経験のない職員の能力の向上が図れなかった。
			<input type="checkbox"/> 部署連携 <input type="checkbox"/> 官民連携 <input checked="" type="checkbox"/> 広域連携 <input type="checkbox"/> 事業連携 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> その他 水道事業が継続できよう、地区間を連絡管で結び相互間での水の供給を行なう。
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後も適切	

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input type="checkbox"/> 改革 <input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
<input checked="" type="checkbox"/> 維持継続		
説明	<input type="checkbox"/> 水道水の安定供給のための、老朽管の更新や緊急遮断弁の設置を行う。	

事業名：災害につよい安定した水道

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
水道施設更新	成果指標				87,070	52,374	【当年度の事業成果】 老朽管の更新事業や水源地に自家発電機を設置し緊急時の対応を図った。 【今後の改善の方向性】 少人数の職員での大規模災害時の飲料水の給配水方法について検討する。	応急給配水時の相互協力	②継続
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
			合計		87,070	52,374			

事業管理シート		R1 年度事業計画			
事業名	健全経営を目指す水道	事業コード	431-3	担当課名	上下水道課
				担当者名	丹生 順二
1. 事業概要	会計名	水道事業会計	科目名(目)	営業費用・営業外費用 建設改良費	
施策名	水道の安定供給			施策コード	
戦略力以外の位置づけ	③V字回復戦略を下支えするために取り組む事業				
施策の貢献度	H30年	40%	R1年度	40%	
事業意図	安定した水道事業の基盤強化を目指す。				
事業内容 (R1年度)	水道料金の未納対策の強化 水道管漏水箇所の修繕による水道有収率の向上 職員コスト削減に対する意識の向上				
関連法規等					
個別計画 (計画期間)	南伊勢町水道ビジョン				

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
決算額					

3. R1 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押し更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計					
政策的経費 A					
政策的経費 B	0				
経常的経費 A	0				
経常的経費 B					
新規事業 (再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重点事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費 (人件費、公債費、扶助費)、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値 (実績値)	
		H30	R1 R2
成果	水道有収率の向上	66.8%	6 (68.8

5. R1 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること	
外部環境	<p>【機会】</p> <p>【脅威】</p>
内部環境	<p>【強み】</p> <p>【弱み】</p>

R1 年度に向けての当年度 (H30) 以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

--

9. 来年度 (R2) 以降の事業意図と内容

<p>【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。</p> <p>【改善】 漏水箇所の修繕や経費の見直し、削減を図る。</p> <p>【改革】 高額の未納者に対し法的手段また、面談等により水道料金の回収の強化を促進する。</p>
--

6. R1 年度の事業成果

<p>高額未納者に対して法的手段を継続した。</p> <p>漏水調査を職員で行ない、コストを削減し有収率の向上を図った。</p> <p>中長期的に安定した健全経営を目指し、経営戦略・アセットビジョンを策定した。</p>

7. 当年度事業 (R1) の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	③やや下回っている	職員による漏水調査の強化を行なった
必要性	公的関与の必要性	① ①今後 も必要	水道事業の性格性から町営としての事業運営は必要である。
	役割分担の適切性	① ①今後 も適切	
効率性	業務・サービスの改善結果	③変わらない	<input type="checkbox"/> 迅速化 <input type="checkbox"/> 平準化 <input type="checkbox"/> 低コスト化 <input type="checkbox"/> 標準化 <input type="checkbox"/> 外部委託化 <input type="checkbox"/> IT・AI 化 <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 能力向上 <input checked="" type="checkbox"/> その他
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後 も適切	<input type="checkbox"/> 部署連携 <input type="checkbox"/> 官民連携 <input type="checkbox"/> 広域連携 <input type="checkbox"/> 事業連携 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> その他 有収率を向上させ、収益性を向上する。

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input type="checkbox"/> 改革 <input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
<input checked="" type="checkbox"/> 維持継続		
説明	<input type="checkbox"/> 経費の削減や有収率の向上させ水道事業の経営基盤の安定化を図る。	

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1 の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
	成果指標								②継続
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
			合計						

事業管理シート

R1 年度事業計画

事業名	下水道整備の推進	事業コード	432-1	担当課名	上下水道課
				担当者名	堀江 幹
1. 事業概要	会計名	下水道事業特別会計	科目名(目)		
施策名	生活排水対策の推進			施策コード	432
戦略的視点の位置づけ	②V字回復戦略の波及を効果的にするために取り組む事業				
施策の貢献度	H30年		R1年度	30%	
事業意図	・処理場が統合されることにより下水道財政が持続可能な形で維持され、津波による災害危機管理体制を確立する。 ・既存の下水道施設の機能低下等の的確な状況把握を通じ、適切な更新及び機能保全対策を行う。				
事業内容 (R1年度)	・今後も供用開始した既設処理区の長寿命化計画及び事業計画を作成し、補助金などを活用し効率よく施設の更新を図る。 ・長寿命化計画事業を策定し事業計画費用を算定する。				
関連法規等					
個別計画 (計画期間)					

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
決算額					

3. R1 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押して更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
新規事業 (再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重要事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費(人件費、公債費、扶助費)、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値(実績値)		
	H30	R1	R2	
成果	事業の進捗率(%)	12.4	26.8	76.4

5. R1 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること		
外部環境	【機会】	【脅威】
	【強み】	【弱み】
内部環境		

R1 年度に向けての当年度 (H30) 以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

9. 来年度 (R2) 以降の事業意図と内容

【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。 ・漁業集落排水事業で計画している「阿曾浦・糞浦・古和浦」を合併処理浄化槽事業への転換を検討する。 ・引き続き下水道への接続を促進していく。
--

・・・R1 年度末 記入欄

6. R1 年度の事業成果
令和元年度は長寿命化事業により、宿浦浄化センターの機械・防食工事の設計、積算を行った

7. 当年度事業 (R1) の総合評価

事業の成果	評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況 ③やや下回っている	長寿命化事業により宿浦浄化センターの機械・電機・防食工事を実施する予定であったが、工程調整に不足の日数を要したため設計、積算のみとなった。(繰越事業)
必要性	公的関与の必要性 ① ①今後も必要	長寿命計画により実施する必要がある。
	役割分担の適切性 ② ②今後要見直し	請負業者との工程管理が必要である。
効率性	業務・サービスの改善結果 ③変わらない	<input type="checkbox"/> 迅速化 <input type="checkbox"/> 平準化 <input type="checkbox"/> 低コスト化 <input type="checkbox"/> 標準化 <input type="checkbox"/> 外部委託化 <input type="checkbox"/> IT・AI化 <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 能力向上 <input type="checkbox"/> その他 既設の下水道処理施設を更新することから変化なし
有効性	指標や取り組みの妥当性 ①今後も適切	<input type="checkbox"/> 部署連携 <input type="checkbox"/> 官民連携 <input type="checkbox"/> 広域連携 <input type="checkbox"/> 事業連携 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> その他 工程管理を見直し事業の進捗を図る。

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input type="checkbox"/> 改革 <input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与と低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
■維持継続		
説明	・引きつづき長寿命化計画を継続していく。 。	

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
長寿命化事業	成果指標	事業の進捗率（%）	39.0	26.8			【当年度の事業成果】 ・宿浦地区の長寿命化計画に伴う詳細設計が終了した。 【今後の改善の方向性】 ・更新に伴う工事を行う予定であったが、工期不足等により次年度に繰越しを行い工事を施工する。	委託業務請負業者による設計業務。	②継続
	活動指標	事業実施率（%）	100	17.2					
	成果指標								未選択
	活動指標								未選択
	成果指標								未選択
	活動指標								未選択
	成果指標								未選択
	活動指標								未選択
	成果指標								未選択
	活動指標								未選択
				合計					

事業管理シート

R1 年度事業計画

事業名	合併処理浄化槽の普及		事業コード	432-2	担当課名	上下水道課	担当者名	堀江 幹
1. 事業概要	会計名	合併処理浄化槽事業特別会計	科目名(目)					
施策名	生活排水対策の推進				施策コード	433		
戦略力以外の位置づけ	②V字回復戦略の波及を効果的にするために取り組む事業							
施策の貢献度	H30年		R1年度	20%				
事業意図	生活改善を図るため、トイレの水洗化、雑排水の適切な処理を行う。							
事業内容 (R1年度)	浄化槽の設置を行うと共に設置した浄化槽の現場の確認を行う。							
関連法規等								
個別計画 (計画期間)								

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
決算額					

3. R1 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押して更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
新規事業 (再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重点事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費 (人件費、公債費、扶助費)、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値 (実績値)		
	H30	R1	R2	
成果	当年度の生活排水の汚濁負荷 (BOD) の減少量 (g) (放流水 4g - 生活排水 43g) x 基数分	-117	-78	-78

5. R1 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること	
外部環境	<p>【機会】</p> <p>【脅威】</p>
内部環境	<p>【強み】</p> <p>【弱み】</p>

R1 年度に向けての当年度 (H30) 以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

--

9. 来年度 (R2) 以降の事業意図と内容

<p>【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。</p> <p>・町設置型の合併処理浄化槽の普及促進。</p> <p>・下水道区域外への合併処理浄化槽設置時の補助の促進。</p>
--

・・・R1 年度末 記入欄

6. R1 年度の事業成果

事業計画のとおり、浄化槽を 2 基設置した。

7. 当年度事業 (R1) の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	②計画通り	活動指標に設定した浄化槽の設置目標 2 基設置を行い成果指標である BOD の減少量も達成できたため。
必要性	公的関与の必要性	① ①今後も必要	今後も BOD の減少を推進するため。
	役割分担の適切性	① ①今後も適切	今後も、役割分担を適切におこない、目標値を達成できたため。
効率性	業務・サービスの改善結果	③変わらない	<input type="checkbox"/> 迅速化 <input type="checkbox"/> 平準化 <input type="checkbox"/> 低コスト化 <input type="checkbox"/> 標準化 <input type="checkbox"/> 外部委託化 <input type="checkbox"/> IT・AI 化 <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 能力向上 <input checked="" type="checkbox"/> その他 町民からの申請が主体であるが、本年度は 2 件であったことから、パートナーである町民及び設置事業者との連携が図られた。
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後も適切	<input type="checkbox"/> 部署連携 <input type="checkbox"/> 官民連携 <input type="checkbox"/> 広域連携 <input type="checkbox"/> 事業連携 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> その他 BOD の減少量が数値化できることから指標の取組が適切である。

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input type="checkbox"/> 改革 <input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与と低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
説明	<input checked="" type="checkbox"/> 維持継続 ・合併処理浄化槽の普及を行う。	

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
浄化槽設置事業	成果指標	当年度の生活排水の汚濁負荷（BOD）の減少量（g）（放流水4g-生活排水43g）×基数分	-78	-78			【当年度の事業成果】 ・2基の合併処理浄化槽の補助を行った。 【今後の改善の方向性】	・町の指定業者及び請負業者による浄化槽の設置	②継続
	活動指標	設置数	2	2					
浄化槽市町村整備推進事業	成果指標	当年度の生活排水の汚濁負荷（BOD）の減少量（g）（放流水4g-生活排水43g）×基数分	-585	-351			【当年度の事業成果】 ・9基の合併処理浄化槽を設置した。 【今後の改善の方向性】	・町の指定業者及び請負業者による浄化槽の設置	②継続
	活動指標	設置数	15	9					
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
				合計					

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
下水道維持管理事業	成果指標	故障による施設の休止日数	0	0			【当年度の事業成果】 ・日々の点検や更新計画によって安定的な水処理が行えた。 【今後の改善の方向性】	・維持管理業者による定期点検の実施。	②継続
	活動指標	維持管理日数	242	242					
浄化槽維持管理事業	成果指標	故障による施設の休止日数	0	0			【当年度の事業成果】 ・日々の点検によって安定的な水処理が行えた。 【今後の改善の方向性】	・維持管理業者による定期点検の実施。	②継続
	活動指標	維持管理日数	242	242					
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
				合計					

事業管理シート

R1 年度事業計画

事業名	持続可能な下水道財政の確立		事業コード	432-4	担当課名	上下水道課
					担当者名	堀江 幹
1. 事業概要		会計名	一般会計		科目名(目)	
施策名	生活排水対策の推進				施策コード	432
戦略力以外の位置付	③V字回復戦略を下支えするために取り組む事業					
施策の貢献度	H30年		R1年度	20%		
事業意図	下水道事業・浄化槽事業に伴う経費の一部について、一般会計からの繰出し金を財源とすることにより、事業経営の安定化を図る。					
事業内容 (R1年度)	可能な限り繰出し基準に基づき一般会計から繰出しを行う。					
関連法規等						
個別計画 (計画期間)						

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
決算額					

3. R1 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押して更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
新規事業 (再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重点事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費(人件費、公債費、扶助費)、繰出し金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値(実績値)	
	H30	R1	R2
成果	下水道会計における実質収支の赤字額		0

5. R1 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること		
外部環境	【機会】	【脅威】
	【強み】	【弱み】
内部環境		

R1 年度に向けての当年度 (H30) 以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

--

9. 来年度 (R2) 以降の事業意図と内容

<p>【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。</p> <p>・一般会計からの繰り出しを行うことにより下水道会計・浄化槽会計の事業経営を安定して行います。</p>

・・・R1 年度末 記入欄

6. R1 年度の事業成果

下水道事業・浄化槽事業に伴う経費の一部について、一般会計からの繰出し金を財源とすることにより、事業経営の安定化が図られた。

7. 当年度事業 (R1) の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	②計画通り	活動指標、成果指標とも目標どおり実施できた。
必要性	公的関与の必要性	①今後も必要	中長期的な収支を見込んだ借入と料金、補助金、交付金などの動向を把握することで、効率的に繰出しをすることができた。
	役割分担の適切性	① ①今後も適切	合併処理浄化槽特別会計・下水道特別会計 中長期的な収支を厳正に見込むとともに、経費削減、歳入確保策を講じた。
効率性	業務・サービスの改善結果	②やや効率化できた	<input type="checkbox"/> 迅速化 <input type="checkbox"/> 平準化 <input type="checkbox"/> 低コスト化 <input type="checkbox"/> 標準化 <input type="checkbox"/> 外部委託化 <input type="checkbox"/> IT・AI 化 <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 能力向上 <input checked="" type="checkbox"/> その他 中長期的な収支を厳正に見込むとともに、経費削減、歳入確保策を講じ、一般会計からの繰出し金を確保し、経営の安定化を図った。
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後も適切	<input type="checkbox"/> 部署連携 <input type="checkbox"/> 官民連携 <input type="checkbox"/> 広域連携 <input type="checkbox"/> 事業連携 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> その他 下水道会計における実質収支の赤字額で分かりやすき明記できた。

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input type="checkbox"/> 改革 <input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
■維持継続		
説明	<p>・繰出し基準額を算定し、償還による経営基盤の圧迫を回避する。</p> <p>・基金の積み立てにより、下水道・浄化槽会計の資金不足を回避する。</p>	

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
下水道事業特別会計繰出金事業	成果指標	下水道会計における実質収支の赤字額	0				【当年度の事業成果】 ・下水道事業に伴う経費の一部について、一般会計からの繰出金を財源とする事で、安定した事業経営を行った。 【今後の改善の方向性】 ・料金収入の向上等により一般会計からの繰入額を少なくする。		②継続
	活動指標	基準外繰出額	0						
浄化槽事業特別会計繰出金事業	成果指標	浄化槽会計における実質収支の赤字額	0				【当年度の事業成果】 ・浄化槽事業に伴う経費の一部について、一般会計からの繰出金を財源とする事で、安定した事業経営を行った。 【今後の改善の方向性】 ・料金収入の向上等により一般会計からの繰入額を少なくする。		②継続
	活動指標	基準外繰出額	0						
下水道町債管理基金事業	成果指標	下水道会計における実質収支の赤字額	0				【当年度の事業成果】 ・三重県からの補助金を基金に積み立てた。 【今後の改善の方向性】		②継続
	活動指標	基金積立額	0						
浄化槽町債管理基金事業	成果指標	浄化槽会計における実質収支の赤字額	0				【当年度の事業成果】 ・三重県からの補助金を基金に積み立てた。 【今後の改善の方向性】		②継続
	活動指標	基金積立額							
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
			合計						

事業管理シート

R1 年度事業計画

事業名	公衆衛生の向上	事業コード	433-1	担当課	環境生活課
				担当者	瀬古
1. 事業概要	会計名	一般会計	科目名(目)		
施策名	生活環境の保全と環境美化			施策コード	433
戦略力以外の位置付	③V字回復戦略を下支えするために取り組む事業				
施策の貢献度	H30年	20%	R1年度	20%	
事業意図	<ul style="list-style-type: none"> 火葬場施設が適切に運営できるとともに、施設の状況に対応し現状が維持される。 災害等発生時において、害虫駆除消毒を行い公衆衛生の向上を図る 狂犬病の発生が未然に防止されるよう全ての飼い主が狂犬病予防接種を受けるようになることを事業意図として重視している。 				
事業内容 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> 火葬場施設の運営を行うとともに、4名の委託を受けた火葬従事者による施設の点検を行う。 火葬従事者から報告を受けた場合は役場は現場を確認し必要に応じ改修を行う。 犬猫不妊手術を行いたい飼い主に対し役場が犬猫不妊手術費の一部助成を行う。また、ノラ猫対策として、TRN事業を実施していく。 害虫駆除消毒を行う地区に対し薬剤の取り扱いや、障害・ボランティア保険等への加入についての説明を行う。 				
関連法規等					
個別計画 (計画期間)					

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額	19,817	25,436			
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
決算額	19,388				

3. R1 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費はF9を押して更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計	19,817		4,500	4,090	11,227
政策的経費 A	0				
政策的経費 B	0				
経常的経費 A	0				
経常的経費 B	19,817		4,500	4,090	11,227
新規事業 (再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重点事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費(人件費、公債費、扶助費)、繰出金のうち義務的

経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

成果	指標名	現状値	目標値 (実績値)	
		H30	R1	R2
	火葬終了後の点検率 (%)	100	100 ()	100

5. R1 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること		
外部環境	【機会】	【脅威】
	【強み】	【弱み】

R1 年度に向けての当年度 (H30) 以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載
<ul style="list-style-type: none"> ノラ猫 TRN 事業で不妊手術を実施しているが、予算確保が明確でなく計画的な実施が難しい 令和元年度の区長会において、地区消毒は中止する方向に決定したが、地区住民への対応が課題である。 霊柩車 2 台が 20 年程度使用しているため、新たな車両を整備する必要がある。

9. 来年度 (R3) 以降の事業意図と内容

【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。

6. R1 年度の事業成果

<ul style="list-style-type: none"> 火葬業務においては、問題なく施設を稼働することが出来た。 ノラ猫対策として、新たに三重県、地元獣医の協力により、TRN事業を実施することが出来た。
--

・・・R2 年度末 記入欄

7. 当年度事業 (R1) の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	②計画通り	計画通りに進めることが出来ている。
必要性	公的関与の必要性	②今後要見直し	地区消毒機械の貸出しについては、下水道等の整備により効率面や安全性を考えると中止しても問題がないと思われる。
	役割分担の適切性	②今後要見直し	
効率性	業務・サービスの改善結果	②やや効率化できた	<input checked="" type="checkbox"/> 迅速化 <input type="checkbox"/> 平準化 <input type="checkbox"/> 低コスト化 <input type="checkbox"/> 標準化 <input checked="" type="checkbox"/> 外部委託化 <input type="checkbox"/> IT・AI 化 <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 能力向上 <input type="checkbox"/> その他 新しい南勢火葬場が稼働1年を迎えた
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後も適切	<input checked="" type="checkbox"/> 部署連携 <input checked="" type="checkbox"/> 官民連携 <input type="checkbox"/> 広域連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業連携 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> その他

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input type="checkbox"/> 改革 <input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
<input type="checkbox"/> 維持継続		
説明		

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
火葬場管理運営	成果指標	火葬終了後の点検率（%）	100%	100%	19,817	19,388	火葬場施設の運営を行うとともに、4名の火葬従事者による施設の点検を行い、火葬従事者から報告を受けた場合は、役場は現場を確認し必要に応じ改修を行う。また、従事者会議を実施し互いの意見交換を行う。	火葬従事者との連携	②継続
	活動指標	故障による施設の休止日数	0日	0日					
衛生対策	成果指標	消毒薬剤購入回数	1回	1回			消毒器の点検及び消毒薬剤の購入及び廃棄を行う	業者との連携	②継続
	活動指標	害虫駆除消毒機材点検数	6回	6回					
犬猫対策	成果指標	狂犬病の発生が防止される	100%	100%			狂犬病予防注射未接種の飼い主に対し電話等による登録及び注射の呼びかけを行う。ノラ猫対策として、三重県や地元動物病院の協力によりTNR事業を実施しノラ猫による地域での繁殖抑止していく。	飼い主、県、地元獣医と連携	未選択
	活動指標	集合注射の実施箇所数	27カ所	27カ所					
	成果指標							未選択	
	活動指標								
	成果指標							未選択	
	活動指標								
	成果指標							未選択	
	活動指標								
				合計					

事業管理シート		R1年度事業計画			
事業名	特定空家の適正な管理の促進	事業コード	433-2	担当課名	環境生活課
				担当者名	瀬古
1. 事業概要	会計名	一般会計	科目名(目)	環境衛生費	
施策名	生活環境の保全と環境美化			施策コード	433
戦略力以外の位置付	③V字回復戦略を下支えるために取り組む事業				
施策の貢献度	H30年	30%	R1年度	30%	
事業意図	・適正に管理されていない空き家を少なくすることにより、倒壊等の事故、犯罪、火災等を未然に防止し、町民の生活環境の保全と安全で安心な暮らしを実現する。				
事業内容 (R2年度)	・適正に管理されていない空き家を少なくする為の対策や補助金を検討する。				
関連法規等	空屋等対策の推進に関する特別措置法 南伊勢町空屋等の適性管理に関する条例				
個別計画 (計画期間)	南伊勢町空屋等対策計画				

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額	5,881	5,776			
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B	5,881	5,776			
決算額	5,372				

3. R1年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費はF9を押して更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計	5,881				5,881
政策的経費 A	0				
政策的経費 B	0				
経常的経費 A	0				
経常的経費 B	5,881				5,881
新規事業 (再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重点事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費 (人件費、公債費、扶助費)、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値 (実績値)	
	H30	R1	R2
成果			
空き家に関する検討会の開催日数	1	2 ()	2

5.R1年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること		
外部環境	【機会】 ・空屋対策補助金制度がある。	【脅威】 ・空屋所有者の多くが、町外在住者である
	【強み】	【弱み】 ・空屋が増加している。
内部環境		

R1年度に向けての当年度 (R2) 以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

・令和元年 6 月に南伊勢町空屋等の適性管理に関する条例を整備したが、危険家屋に対する支援事業がないため新たな補助支援が必要である。
・令和元年度は、町の単独予算で実施してきたが、新たな国の補助金等を活用していく必要がある。

9.来年度 (R2) 以降の事業意図と内容

【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。
空家対策を全体で検討する必要がある

6.R1年度の事業成果

特定空家除却補助金及び南伊勢町空家等の適正管理に関する条例の制定を実施したことにより
特定空家 10 件の除却 略式代執行 1 件除却 条例による危険家屋に緊急応急措置の実施、危険家屋 1 件除却実施することが出来た。

7.当年度事業 (R1) の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	①上回っている	補助金等の実施により大きく進展した
必要性	公的関与の必要性	①今後も必要	空家が社会的な問題となっているため公的な対策が必要と思われる
	役割分担の適切性	②今後要見直し	所有者と放置せれる前段階の対策が必要
効率性	業務・サービスの改善結果	②やや効率化できた	■迅速化 □平準化 □低コスト化 □標準化 ■外部委託化 □IT・AI化 □民間活用 □能力向上 □その他
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後も適切	■部署連携 ■官民連携 □広域連携 ■事業連携 ■サービス向上 □その他

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input type="checkbox"/> 改革 <input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
説明	<input type="checkbox"/> 維持継続	

事業名：

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
空屋対策	成果指標	特定空屋等管理されていない空屋件数	12		5,881	5,372	適正に管理されていない空き家を少なくすることにより、倒壊等の事故、犯罪、火災等を未然に防止し、町民の生活環境の保全と安全で安心な暮らしを実現する。	空き家対策協議会委員 や空屋バンク登録担当 課との情報交換	②継続
	活動指標	空屋に関する検討委員会の開催回数	2						
	成果指標								②継続
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
				合計					

事業名	ごみ処理体制の充実	事業コード	433-③	担当課名	環境生活課
1. 事業概要		会計名	一般会計	科目名(目)	清掃総務費 塵芥処理費
施策名	生活環境の保全と環境美化			施策コード	433
戦略力以外の位置づけ	未選択				
施策の貢献度	R1 年	30%	R2 年度	30%	
事業意図	ごみの収集を効率的に行い適正な処理ができるようにすることで、不法投棄のない自然が豊かな清潔で生活環境が整ったまちづくりに貢献します。				
事業内容 (R1 年度)	一般廃棄物の収集・運搬、焼却・肥料化・資源化等の中間処理、資源物の保管及び最終(埋立)処分を適正にできるように取り組みます。 バイオマス事業を見据えながら、老朽化した各施設の維持修繕を実施し一般廃棄物の処理が確実にできるように取り組みます。 老朽化した車両等の更新を実施します。 老朽化したごみ集積所の修繕を各区と協議し修繕を実施します。				
関連法規等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 等 南伊勢町廃棄物の処理及び清掃に関する条例 等				
個別計画 (計画期間)	南伊勢町一般廃棄物処理基本計画(平成20年度～令和4年度) 南伊勢町循環型社会形成推進地域計画(令和2年度～令和6年度)				

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額	229,118	238,110			
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B	229,118	238,110			
決算額	218,335				

3. R1 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押し更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計	229,118		44,800	19,700	164,618
政策的経費 A	0				
政策的経費 B	0				
経常的経費 A	0				
経常的経費 B	229,118		44,800	19,700	164,618
新規事業(再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V 字回復戦略最重点事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費(人件費、公債費、扶助費)、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値(実績値)		
	H30	R1	R2	
成果	故障等による施設の 休止日数	0 日	0 日 ()	0 日

5. R2 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること	
外部環境	<p>【機会】</p> <p>1.2.バイオマス事業など新しい循環型社会形成の取り組みを行っている。</p> <p>【脅威】</p> <p>1. 一般廃棄物の種類が多様化している。(空き家などの片付けゴミ)</p> <p>1. 長期休暇になるとごみの収集回数が減る。</p> <p>1. 高齢化によるごみ収集等の要望がある。</p> <p>2. 施設の機器の交換部品の供給ができなくなる。</p>
内部環境	<p>【強み】</p> <p>1. 収集処理体制が確立されている。</p> <p>1.1. バック車など収集車両がある。</p> <p>1.2. 各廃棄物処理施設がある。(焼却炉・堆肥化施設・再資源化施設等)</p> <p>1.2. 最終処分場(南勢・なんとう)がある。</p> <p>1.2. 各地区にごみ集積場がある</p> <p>1. バイオマスによるごみ処理の検討が進められている。</p> <p>【弱み】</p> <p>1. 収集車両が老朽化してきている。</p> <p>1. 正規職員が減ってきている。</p> <p>1.2. 各廃棄物処理施設が老朽化してきている。</p>

R2 年度に向けての当年度(R1)以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

【強み伸長】1. バイオマス事業に伴い、収集体制の見直しや各施設の統廃合を検討しながら、維持管理しなければならない。
【弱み克服】1.2. クリーンセンター関係の各処理施設や車両等が老朽化してきているが、バイオマス事業を見据えながら修繕・更新を考えて維持管理していかなければならない。
【脅威打破】1. 収集体制については、現状どおり収集日が2回連続で無くなるように実施し、高齢者等のごみ収集の要望については、バイオマス事業の取組体制の検討の中で考えていかなければならない。

9. 来年度(R2)以降の事業意図と内容

【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。
【改善】養殖業者等のエサ袋は、そのまま投入するとホッパー(ごみの投入口)に詰まりやすく火災等の原因にもなることから、持込まれたエサ袋については職員が切断後、ピットへ投入しているが、事業者や漁民に「半分は切断してもらうよう協力してもらい、ごみ処理の効率化を図る。
【改革】バイオマス産業都市構想にあわせ、新しい施設の機能やごみの分別(生ごみ等の活用)など、担当課による研修会を開催するなど事業実施に向けた準備を行います。
高齢者や身体の不自由な方の粗大ごみ等の「軒先収集」を検討する。
「清掃手数料」の改定について検討を行う。

6. R1 年度の事業成果

<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンセンターなんとう1号炉修繕工事 ・クリーンセンターなんとう制御室のPLC修繕工事 ・クインセンターなんとう側溝整備工事 ・最終処分場の遮水シートの張替え工事を行った。 ・最終処分場汚泥遠心脱水機整備工事
--

7. 当年度事業(R2)の総合評価

事業の成果	評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況 ②計画通り	施設の機械器具等のメンテナンスや修繕を行うことで、適正な事業運営を行うことができた。
必要性	公的関与の必要性	①今後も必要
	役割分担の適切性	①今後も適切
効率性	業務・サービスの改善結果	③変わらない <input type="checkbox"/> 迅速化 <input type="checkbox"/> 平準化 <input type="checkbox"/> 低コスト化 <input type="checkbox"/> 標準化 <input type="checkbox"/> 外部委託化 <input type="checkbox"/> IT・AI化 <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 能力向上 <input type="checkbox"/> その他
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後も適切 <input type="checkbox"/> 部署連携 <input type="checkbox"/> 官民連携 <input type="checkbox"/> 広域連携 <input type="checkbox"/> 事業連携 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> その他

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input checked="" type="checkbox"/> 改革 <input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input checked="" type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 維持継続	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
説明	当町は現在「可燃ごみの収集」を週3回実施しているが、県内では可燃ごみの収集日が週2回という市町がほとんどである。現在、高齢者や身体の不自由な方の粗大ごみ等の「軒先収集」を検討していることから収集日を週2回にして福祉部局、民間事業者とも連携して「軒先収集」の実施に向けた調整を行う。また、施設も老朽化してきていることから修繕費用が増えてきていることから、「清掃手数料」の改定も検討を行う。	

事業名：地域づくり支援事業の充実

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
1. ゴミ処理対策事業	成果指標	故障による施設の休止日数	0日	0日	238,110	218,335	(当年度の事業成果) ・クリーンセンターなんとう1号炉修繕工事 ・クリーンセンターなんとう制御室のPLC修繕工事 ・クイーンセンターなんとう側溝整備工事 ・最終処分場の遮水シートの張替え工事を行った。 ・最終処分場汚泥遠心脱水機整備工事 (今後の改善の方向性) ・クリーンセンターの各施設が老朽化しているため、今後においても適正な事業運営が行えるよう計画的に修繕に努めます。 ・クリーンセンターの各施設の事業運営に必要な資格を計画的に取得できるよう	【パートナー】 1. 町民 2. 収集運搬委託業者 3. 修繕業者・メーカー 【役割】 1. ごみの分別排出。 2. 不燃物・資源物等の収集運搬・処理の実施。 3. 施設の点検・修繕・字修繕工事及び修繕計画等の助言	②継続
	活動指標	年次計画策定の進捗率	100%	100%					
	成果指標								未選択
	活動指標								未選択
	成果指標								未選択
	活動指標								未選択
	成果指標								未選択
	活動指標								未選択
			合計		238,110	218,335			

事業管理シート		R1 年度事業計画			
事業名	不法投棄防止対策の強化	事業コード	433-4	担当課名	環境生活課
				担当者名	瀬古
1. 事業概要	会計名	一般会計	科目名(目)	環境衛生費	
施策名	生活環境の保全と環境美化			施策コード	433
戦略的視点の位置付	③V字回復戦略を下支えするために取り組む事業				
施策の貢献度	H30年	10%	R1年度	10%	
事業意図	・不法投棄を行う者が不法投棄が出来ないように未然に防止する。				
事業内容 (R2年度)	・不法投棄の多い箇所を調査し、当該箇所に監視カメラを設置もしくは県へ設置の要望を行う。				
関連法規等					
個別計画 (計画期間)					

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額	365	280			
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
決算額					

3. R1 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押して更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
新規事業 (再掲)					

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重要事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費（人件費、公債費、扶助費）、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値 (実績値)		
	H30	R1	R2	
成果	不法投棄通報件数	2	0 (7)	

5. R2 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること		
外部環境	【機会】	【脅威】 ・不法投棄が増加している。
	【強み】 ・県や地域と連携している。	【弱み】 ・現在監視カメラは 2 台設置しているが撤去後に再度不法投棄が発生する可能性がある。
内部環境		

R1 年度に向けての当年度 (R2) 以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

・パトロール強化週間に毎日 6 日間及び月 1 回に町内全域において、職員 2 名で巡回の不法投棄パトロールを行う。把握していない不法投棄箇所が発見された場合は警告看板の設置を行う。

9. 来年度 (R2) 以降の事業意図と内容

【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。

6. R1 年度の事業成果

・・・R1 年度末 記入欄

不法投棄の報告件数は増加しているが、不法投棄された後の対策を強化している。対策としては、特に悪質性の高い不法投棄については、三重県や警察と連携した対応を実施、その後不法投棄された物件を撤去し、環境保全につとめた。また、不法投棄される場所には、監視カメラを設置し監視等を行っている。

7. 当年度事業 (R1) の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	③やや下回っている	目標は下回っているが、不法投棄された物については処理が終了している。
必要性	公的関与の必要性	①今後も必要	継続した取り組みが必要
	役割分担の適切性	①今後も適切	各地区、関係団体と連携が必要
効率性	業務・サービスの改善結果	③変わらない	■迅速化 □平準化 □低コスト化 □標準化 ■外部委託化 □IT・AI 化 □民間活用 □能力向上 □その他
有効性	指標や取り組みの妥当性	②不適切又は今後要改善	■部署連携 ■官民連携 □広域連携 ■事業連携 ■サービス向上 □その他 事業目標値の見直しが必要

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input type="checkbox"/> 改革 <input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
説明	<input type="checkbox"/> 維持継続	

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
不法投棄対策	成果指標	不法投棄通報件数	0	0			県、警察、地域と連携し不法投棄現場において、監視カメラや看板を設置した。また、不法投棄を撤去し周辺環境を清潔に保つことにより新たな不法投棄を防げている。 今後も県や地域と連携し、ゴミの不法投棄をなくしていく。 不法投棄の多い場所には、監視カメラや看板を設置し不法投棄できないよう未然に防止する。	県、警察と連携し不法投棄をなくしていく。	②継続
	活動指標	監視カメラ設置台数	2	2					
	成果指標								②継続
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
				合計					

事業名	し尿処理体系の充実		事業コード	433-5	担当名	環境生活課
					担当名	瀬古
1. 事業概要	会計名	一般会計	科目名(目)			
施策名	生活環境の保全と環境美化			施策コード	433	
戦略的視点の位置付	③V字回復戦略を下支えするために取り組む事業					
施策の貢献度	H30年	10%	R1年度	10%		
事業意図	・本町から排出されるし尿及び浄化槽汚泥が適正に処理できるような状態になる。					
事業内容 (R1年度)	・し尿・浄化槽汚泥の収集・運搬業者に委託し、鳥羽志勢広域連合に運搬されたし尿・浄化槽汚泥を広域連合で最終処分を行う。					
関連法規等						
個別計画 (計画期間)						

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額	140,113	140,394			
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
決算額	140,112				

3. R 1 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押して更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計	140,113				140,113
政策的経費 A	0				
政策的経費 B	0				
経常的経費 A	140,113				140,113
経常的経費 B					
新規事業 (再掲)	0				

※政策的経費 A…V字回復戦略最重要事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B…政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A…毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費(人件費、公債費、扶助費)、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B…経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値(実績値)		
	H30	R1	R2	
成果	不適切処理件数	0回	0回()	0回

5. R 1 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること		
外部環境	【機会】 ・広域的なし尿処理体制がある。	【脅威】
	【強み】 ・鳥羽志勢広域連合と連携している。	【弱み】
内部環境		

R 1 年度に向けての当年度 (R1) 以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

・毎月月初めに、前月の報告資料を業者から提出を受け、職員が報告内容をもとに業務が適正に処理されているか確認を行う。

9. 来年度 (R 2) 以降の事業意図と内容

【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。

6. R 1 年度の事業成果

不適切な処理もなく事業を進めることが出来た。

7. 当年度事業 (R 1) の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	②計画通り	適切な対応ができた
必要性	公的関与の必要性	①今後も必要	
	役割分担の適切性	①今後も適切	町内業者をはじめ広域連合とも調整を行い適切に処理できた。
効率性	業務・サービスの改善結果	③変わらない	■迅速化 □平準化 □低コスト化 □標準化 ■外部委託化 □IT・AI化 □民間活用 □能力向上 □その他
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後も適切	■部署連携 ■官民連携 □広域連携 ■事業連携 ■サービス向上 □その他

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input type="checkbox"/> 改革 <input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
説明	<input type="checkbox"/> 維持継続	

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R 1 の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R 1 予算	R 1 決算	R 1 予算	R 1 決算			
し尿処理対策	成果指標	不適切処理件数	0		140,113	140,112	町で排出されるし尿の適切な処理の実施するため、鳥羽市政広域連合連絡調整を行うとともに、委託業者に収集・運搬を委託し情報を密にする。	町内業者とし尿、浄化槽汚泥の収集・運搬及び鳥羽市政広域連合と連絡調整	②継続
	活動指標	負担金の納入回数	6						
	成果指標								②継続
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
				合計					

事業管理シート

R1 年度事業計画

事業名	温暖化防止対策の推進		事業コード	43	担当課名	環境生活課
					担当者名	坂本
1. 事業概要	会計名	一般会計		科目名(目)		
施策名	自然環境の保全と循環型社会の創出				施策コード	434
戦略的以外の位置付	③V字回復戦略を下支えするために取り組む事業					
施策の貢献度	H30年	25%	R1年度	25%		
事業意図	地球温暖化問題に取り組むことにより町内の自然環境が保全される					
事業内容 (R1年度)	温室効果ガス排出量の削減目標の実現に向けてさまざまな取組を行い、地球温暖化対策の推進を図る。					
関連法規等	地球温暖化対策の推進に関する法律					
個別計画 (計画期間)	第1次南伊勢町地球温暖化対策実行計画					

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額		3,129			
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
決算額					

3. R1 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押し更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計	0				
政策的経費 A	0				
政策的経費 B	0				
経常的経費 A	0				
経常的経費 B	0				
新規事業 (再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重要事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費(人件費、公債費、扶助費)、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値(実績値)		
		H30	R1	R2
成果	南島・南勢庁舎のCO2削減	100%	99.4% ()	98.8%

5. R1 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること		
外部環境	【機会】	【脅威】 ・地球温暖化が進んでいる
	【強み】 ・温暖化防止の取組を行っている	【弱み】
内部環境		

R1 年度に向けての当年度 (H30) 以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

第1次南伊勢町地球温暖化対策実行計画に基づきCO2を5年間で3%削減を目指します。その取組みとして、公用車のアイドリングの徹底等を実施していきます。

9. 来年度 (R3) 以降の事業意図と内容

【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。

・・・R2 年度末 記入欄

6. R1 年度の事業成果

南伊勢町地球温暖化対策実行計画を制定し両庁舎CO2を5か年で3%の削減を実施していく
--

7. 当年度事業 (R1) の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	②計画通り	省電力機器の使用等により電力消費を削減している
必要性	公的関与の必要性	①今後も必要	
	役割分担の適切性	①今後も適切	
効率性	業務・サービスの改善結果	②やや効率化できた	■迅速化 □平準化 □低コスト化 □標準化 ■外部委託化 □IT・AI化 □民間活用 □能力向上 □その他
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後も適切	■部署連携 ■官民連携 □広域連携 ■事業連携 ■サービス向上 □その他

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input type="checkbox"/> 改革 <input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
<input type="checkbox"/> 維持継続		
説明		

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
温暖化防止対策推進事業	成果指標	南島・南勢庁舎のCO2削減	99.4%				二酸化炭素の排出削減等環境負荷の低減を図るため、両庁舎による電気使用量の削減や、冷暖房の温度管理の徹底、公用車のアイドリングストップの徹底、町内企業へのCO2削減への協力依頼等を実施し令和元年度より0.7%CO2削減を目指す。	職員と連携する。	②継続
	活動指標	LED街頭無点灯数	0日						
	成果指標								②継続
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
				合計					

事業管理シート		R1 年度事業計画			
事業名	公害対策の強化	事業コード	43	担当課名	環境生活課
				担当者名	瀬古
1. 事業概要	会計名	一般会計	科目名(目)		
施策名	自然環境の保全と循環型社会の創出			施策コード	434
戦略的視点の位置付	③V字回復戦略を下支えするために取り組む事業				
施策の貢献度	H30年	10%	R1年度	10%	
事業意図	・公害問題の発生が未然に防げ、町内の自然環境が保全される。				
事業内容 (R1年度)	・公害防止協定締結事業所と連携し公害防止協定により遵守すべき事項や講ずべき事項に取り組むとともに、役場が公害防止協定締結事業所付近の水質検査を行い公害問題に対する監視を行う。また、問題が発生した場合には公害防止等協定書に基づき必要な措置を講じる。				
関連法規等					
個別計画 (計画期間)					

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R4	R5	R6
予算額	290	290			
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
決算額	155				

3. R1 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押し更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計	290				290
政策的経費 A	0				
政策的経費 B	0				
経常的経費 A	0				
経常的経費 B	290				290
新規事業 (再掲)	0				

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重要事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費(人件費、公債費、扶助費)、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値(実績値)		
	H30	R1	R2	
成果	水質検査による異常ありの報告件数	0件	0件()	0件

5. R1 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること		
外部環境	【機会】	【脅威】 ・環境問題が多様化している。
	【強み】 ・南伊勢町環境保全審議会がある。	【弱み】 ・野焼きが行われている。
内部環境		

R1 年度に向けての当年度 (H30) 以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

・役場が公害防止協定締結事業所付近の水質検査(のべ17回)を行い、問題が発生した場合には事業所に対し公害防止等協定書に基づき必要な措置を講じる。
・その他南伊勢町環境保全条例に定義する公害に対する苦情を受け付けた場合、職員が現場へ出向き状況判断を行い、対象事業所に対し適正な処理を図るよう要請等必要な措置を講じる。

9. 来年度 (R3) 以降の事業意図と内容

【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。

6. R1 年度の事業成果

水質検査を8か所で水質検査を実施することにより、公害問題に対する監視することができた。

・・・R2 年度末 記入欄

7. 当年度事業 (R1) の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	②計画通り	
必要性	公的関与の必要性	未選択	
	役割分担の適切性	未選択	
効率性	業務・サービスの改善結果	③変わらない	<input type="checkbox"/> 迅速化 <input type="checkbox"/> 平準化 <input type="checkbox"/> 低コスト化 <input type="checkbox"/> 標準化 <input type="checkbox"/> 外部委託化 <input type="checkbox"/> IT・AI化 <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 能力向上 <input type="checkbox"/> その他
有効性	指標や取り組みの妥当性	未選択	<input type="checkbox"/> 部署連携 <input type="checkbox"/> 官民連携 <input type="checkbox"/> 広域連携 <input type="checkbox"/> 事業連携 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> その他

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input type="checkbox"/> 改革 <input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
説明	<input type="checkbox"/> 維持継続	

事業名：公害対策の強化

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
公害対策の強化	成果指標	水質検査による異常ありの報告件数	0回		290	154	・公害防止協定締結事業所と連携し公害防止協定により遵守すべき事項や講ずべき事項に取り組むとともに、役場が公害防止協定締結事業所付近の水質検査を行い公害問題に対する監視を行う。また、問題が発生した場合には公害防止等協定書に基づき必要な措置を講じる。 ・悪臭に対する苦情を受け付けた場合は、職員が現場へ出向き状況判断を行い、対象事業所に対し適正な処理を図るよう要請等必要な措置を講じる。 ・悪臭の苦情の多い事業に対し、県と協力し改善案を提示するなど事業所が適切な措置を講じることができるための支援を行う。	・公害防止協定を締結した事業所 ・公害防止協定により遵守すべき事項や講ずべき事項に取り組む	②継続
	活動指標	水質検査の回数	17回						
	成果指標								②継続
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
				合計					

事業管理シート R1 年度事業計画

事業名	3 R 等による環境対策の強化		事業コード	434-③	担当名	環境生活課
					担当名	中西 宣裕
1. 事業概要	会計名	一般会計	科目名(目)	清掃総務費 塵芥処理費		
施策名	自然環境の保全と循環型社会の創出			施策コード	434	
戦略力以外の位置づけ	③V字回復戦略を下支えするために取り組む事業					
施策の貢献度	H30年	25%	R1年度	25%		
事業意図	3 R の推進により循環型社会を構築し、地球温暖化防止、自然環境の保全につなげる。					
事業内容 (R1 年度)	循環型社会に向け、町民、地域、事業者、役場が一体となって 3 R (リデュース、リユース、リサイクル) の活動を図るとともに、ごみの分別収集を徹底し、 ごみの減量化・再資源化を推進します。					
関連法規等	・容器包装リサイクル法、家電リサイクル法、食品リサイクル法、建設リサイクル法、自動車リサイクル法 ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・資源有効利用促進法、グリーン購入法					
個別計画 (計画期間)	南伊勢町一般廃棄物処理基本計画 (平成 20 年度～令和 4 年度) 南伊勢町循環型社会形成推進地域計画 (令和 2 年度～令和 6 年度)					

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額	52,061	61,356			
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B	52,061	61,356			
決算額	49,687				

3. R1 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押し更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計	52,061			2,984	49,077
政策的経費 A	0				
政策的経費 B	0				
経常的経費 A	0				
経常的経費 B	52,061			2,984	49,077
新規事業 (再掲)					

※政策的経費 A・・・V 字回復戦略最重点事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費 (人件費、公債費、扶助費)、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値 (実績値)	
	H30	R1	R2
成果			
町民一人当たりごみ排出量	353	350 ()	340

5. R1 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること		
外部環境	【機会】 1.ごみを分別処理している。(再資源化) 1.小学校の社会科見学の要望がある。 1. 3 R の取り組みが行われている。 (減量化) 1.2.バイオマス事業など新しい循環型社会形成の取り組みを行っている。	【脅威】 1. 空き家などの片付けごみが 増え 、分別されずに持ち込まれる場合がある。 2.不燃物等収集運搬処理委託業務に対して疑義がある。 2.施設の 老朽化により 機器の交換部品の供給が 受けられなくなる 。
内部環境	【強み】 1.生活カレンダーを作成し、 全戸配布し分別収集等の周知を行っている。 1.ごみに関する環境学習の 機会を提供している。 1.バイオマスによるごみ処理の検討が進められている。 2.不燃物等 収集業務の一部 を業者委託している。 2.再資源化処理施設がある。(さいたエコセンター) 2.堆肥化施設がある。(きりはらコンポストセンター) 2.破砕分別施設がある。 (クリーンセンターなんとう)	【弱み】 1.正規職員が減ってきて 特殊車両やフォークリフトなどの運転ができない職員が増えている。 2.資源化施設等が老朽化してきている。

R1 年度に向けての当年度 (H30) 以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

【強み伸長】1.小学校の環境教育をはじめ、町民に対して分別等の啓発等をより一層していかなければいけない。
【脅威打破】2.不燃物等収集運搬処理業務委託について、委託業内容の見直しをしなければならぬ。
【脅威回避】2.資源化処理施設の老朽化に伴い、処理機器の消耗部品の供給が 受けられなくなってきたので、機器及び施設の更新も検討しながら 維持管理していかなければならない。

9. 来年度 (R2) 以降の事業意図と内容

【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。
町民・地域・事業者・役場が一体となって、今までどおりごみの分別・3R(リデュース・リユース・リサイクル)を実施していくとともに、より一層のごみ分別・3Rの推進を啓発し、再資源化処理に取り組みます。
【改革】 バイオマス産業都市構想の決定に伴い、ごみの分別(生ごみ等の活用)・3Rなどごみ処理方法の検討に取り組んでいます。

・・・R1 年度末 記入欄

6. R1 年度の事業成果
・小学校の環境学習(町内3校)を受け入れ、「ごみ処理施設」や「分別」の重要性について学んでもらいました。 ・生活カレンダーの全戸配布を行い「収集日」や「分別方法」について周知し、3 R の推進を行った。

7. 当年度事業 (R1) の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	③やや下回っている	家の片付けごみ等の増加により、町民一人当たりのごみ搬出量が増え、やや計画を下回った。
必要性	公的関与の必要性	①今後も必要	
	役割分担の適切性	①今後も適切	
効率性	業務・サービスの改善結果	③変わらない	<input type="checkbox"/> 迅速化 <input type="checkbox"/> 平準化 <input type="checkbox"/> 低コスト化 <input type="checkbox"/> 標準化 <input type="checkbox"/> 外部委託化 <input type="checkbox"/> IT・AI 化 <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 能力向上 <input type="checkbox"/> その他
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後も適切	<input type="checkbox"/> 部署連携 <input type="checkbox"/> 官民連携 <input type="checkbox"/> 広域連携 <input type="checkbox"/> 事業連携 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> その他

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 革新 <input type="checkbox"/> 改革 <input checked="" type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input checked="" type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 維持継続	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
説明	当町は現在「可燃ごみの収集」を週 3 回実施しているが、県内では可燃ごみの収集日が週 2 回という市町がほとんどである。現在、高齢者や身体の不自由な方の粗大ごみ等の「軒先収集」を検討していることから収集日を週 2 回にして福祉部局、民間事業者とも連携して「軒先収集」の実施に向けた調整を行う。また、施設も老朽化してきていることから修繕費用が増えてきていることから、「清掃手数料」の改定も検討を行う。	

事業名：地域づくり支援事業の充実

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
1. 環境啓発事業	成果指標	町民一人当たりの排出量	340 kg	374 kg	11,069	9,218	【当年度の事業成果】 ごみ分別のため集積場への分別標示板等の設置及び広報等による啓発を実施してきました。年度末に向けて、翌年度用の「生活カレンダー」の作成に向けて取り組んでいます。 【今後の改善の方向性】 今まで通りに生活カレンダーによる収集日や分別方法の周知をするとともに、年4回程度の広報等による住民周知を実施していきたい。	【パートナー】 1.町民 2.役場各関係課 【役割】 1.ごみの分別排出の協力 2.「生活カレンダー」を作成するために各課と連携する。	②継続
	活動指標	生活カレンダーの配布回数	1回	1回					
2. 再資源化処理事業	成果指標	ごみの資源化率	16%	16%	41,552	40,468	【【当年度の事業成果】 ・再資源化処理事業の収集運搬においては、不燃物及び資源物の一部を業者へ委託し実施してきました。 ・再資源化処理事業の処理においては、容器包装リサイクル協会等へ処理委託しています。 【今後の改善の方向性】 ・収集運搬委託業務において、以前から資源物の売却と一部運搬業務を相殺して処理をしてきましたが、総計予算主義に基づき委託業務の見直しをして、令和2年度から実施していきたい。	【パートナー】 1.収集運搬委託業者 【役割】 1.不燃物・資源物等の収集運搬	②継続
	活動指標	広報等での分別方法の周知数	2回	1回					
	成果指標								未選択
	活動指標								未選択
	成果指標								未選択
	活動指標								未選択
	成果指標								未選択
	活動指標								未選択
			合計		52,621	49,686			

事業管理シート R1 年度事業計画

事業名	新エネルギーの活用推進 および普及促進	事業 コード	434-4	担当課名	まちづくり推進課
				担当者名	大西一史

1. 事業概要	会計名	一般会計	科目名(目)	企画総務費
施策名	自然環境の保全と循環型社会の創出			施策コード 434
戦略的取組の位置づけ	①V字回復戦略として最重点に取り組む事業			
施策の貢献度	H30年	40%	R1年度	40%

事業意図	地域にあるエネルギー資源を有効に活用し、南伊勢町の特性を活かした新エネルギーの導入を図るとともに、地域温暖化の防止など、循環型社会が構築されたまちにします。
------	--

事業内容 (R1年度)	町内から発生する、生ごみ、し尿、浄化槽汚泥などをメタン発酵によるバイオマス発酵によるバイオマス発電の原料として、エネルギー発電、有機肥料生成、排熱活用を行うことで、二酸化炭素の排出削減などの環境負荷低減や、ごみ処理費等の削減、農林水産物の活性化などにむけたバイオマス産業都市の創造をめざします。 公共施設を整備する際には、併せて太陽光発電などの新エネルギーの導入を図ります。 太陽光を利用した発電や太陽光を利用した住宅などの普及を促進するため、住宅用太陽光発電システム等の設置費への補助事業を行います。
----------------	---

関連法規等	
-------	--

個別計画 (計画期間)	
----------------	--

2. 予算決算額の推移 (千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
予算額	5,233	7,645			
政策的経費 A		7,645			
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B	5,233				
決算額	8,981				

3. R1 年度事業費予算内訳 (千円) ※事業費は F9 を押して更新

	事業費	国・県	町債	その他	一般財源
予算額合計					
政策的経費 A					
政策的経費 B					
経常的経費 A					
経常的経費 B					
新規事業 (再掲)					

※政策的経費 A・・・V字回復戦略最重点事業をはじめとした計画推進事業等 政策的経費 B・・・政策的経費のうち A 以外のもの 経常的経費 A・・・毎年度経常的に支出する経費のうち義務的経費(人件費、公債費、扶助費)、繰出金のうち義務的経費相当分、一部事務組合負担金 経常的経費 B・・・経常的経費のうち A 以外のもの

4. 事業目標

指標名	現状値	目標値(実績値)	
	H30	R1	R2
成果			
南伊勢町バイオマス産業都市構想選定	-	- (-)	1
住宅用太陽光発電システム補助	2	8 (4)	8

5. R1 年度に向けての現状と今後の課題

環境分析 ※新しい変化点はアンダーラインして記述すること		
外部環境	【機会】	【脅威】
	【強み】	【弱み】
内部環境		

R1 年度に向けての当年度 (H30) 以降の事業課題 ※【強み伸長】【脅威打破】【弱み克服】【脅威回避】の区分ごとに記載

--

9. 来年度 (R2) 以降の事業意図と内容

【改善】【改革】【革新】の別に記載すること。
【革新】 家庭ごみ、し尿・浄化槽汚泥、下水道汚泥、給食残渣や農林水産物加工残渣等の資源活用によるバイオマス発電施設の建設、稼働へ向けて、計画等の作成、関係機関との調整等を進める。
【維持継続】 太陽光発電のメリットが少なくなってきたり、申請件数が平成 28 年以降伸びてきていないので、広報、ホームページなどで引き続き補助金制度の啓発をしていく。

6. R1 年度の事業成果

バイオマス産業都市構想選定という目標に向け、臨機応変に、南伊勢町にあったものを選択し構想として取り入れ、選定されるよう進めていくために、三重県、熊本県立大学では試験をしてもらい、農林水産省や農政局で指導を仰ぎ、さくら市などに視察に行きました。 住宅用太陽光発電システム補助については、引き続き、補助啓発の活動をしている。

7. 当年度事業 (R1) の総合評価

事業の成果		評価結果	評価の説明
達成度	目標の達成状況	③やや下回っている	システム補助については、目標の半分にしか達していないため
必要性	公的関与の必要性	①今後も必要	本事業はこれからで、公(農水省、農政局等)の指導が必要であることから①と評価した
	役割分担の適切性	①今後も適切	事業成果達成に向け、これからも引き続き適切にやっていく
効率性	業務・サービスの改善結果	③変わらない	<input type="checkbox"/> 迅速化 <input type="checkbox"/> 平準化 <input type="checkbox"/> 低コスト化 <input type="checkbox"/> 標準化 <input type="checkbox"/> 外部委託化 <input type="checkbox"/> IT・AI 化 <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 能力向上 <input type="checkbox"/> その他 変わらずにやっていくということで③と評価しました。
有効性	指標や取り組みの妥当性	①今後も適切	<input type="checkbox"/> 部署連携 <input type="checkbox"/> 官民連携 <input type="checkbox"/> 広域連携 <input type="checkbox"/> 事業連携 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> その他 成果としては、先になってしまいが、今後も引き続き適切にやるのみで①と評価しました

8. 今後の事業の方向性

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 革新 <input type="checkbox"/> 改革 <input type="checkbox"/> 改善	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 関連事業と統合 <input type="checkbox"/> 対象・意図の見直し <input type="checkbox"/> 指標見直し <input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 補助事務化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 外部委託導入・拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 連携・協働実施 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的達成 <input type="checkbox"/> 町民ニーズ低下 <input type="checkbox"/> 民間移管 <input type="checkbox"/> 町関与と低下 <input type="checkbox"/> 他事業で代替 <input type="checkbox"/> 事業効果低下
説明	<input checked="" type="checkbox"/> 維持継続 バイオマス発電施設の建設、稼働に向けて、まず令和 2 年度は農林水産省の農山漁村 6 次産業化対策事業補助金を受けるために、バイオマス産業都市構想に選定されるよう取り組む。 引き続き、環境への負荷が少ない太陽光エネルギーの導入を促進し、地球温暖化の防止および環境の保全を図ることを目的に住宅用太陽光発電システム設置整備への補助を行う。	

事業名：新エネルギー活用事業

10. 事業を構成する細事業内容

6 事業以上の細事業の位置づけがあるために別紙に記載

細事業名	指標名		目標と実績		事業費（予算【単位：千円】）		R1 の事業成果と今後の改善の方向性	パートナーと役割	事業の位置づけ
			R1 予算	R1 決算	R1 予算	R1 決算			
新エネルギーの活用のための手法の検討	成果指標	バイオマス発電施設建設に向け視察、打合せを行う。	3回 (熊本3回)	18回 (熊本、栃木、長野ほか)	4,753	8,741	【当年度の事業成果】 色々な手法があり、日々、進化していく技術を生かしながら、当町にあった最良のものを視察、打合せをしながら探し、必要な試験を委託し、建設に向けての準備を進めている。 【今後の改善の方向性】 今後も引き続き、最良の形を求めながら、試験を行い、建設へ向けて準備を進める。	三重大学 熊本県立大学 試験の委託	②継続
	活動指標	必要な試験を行う。	2件 (三重大、熊本県立大)	2件					
公共施設整備の際の新エネルギー導入	成果指標	公共施設を整備する際にクリーンエネルギーを導入する	1件 (五ヶ所公民館)	1件	—	—	【当年度の事業成果】 公共施設の建設があり、クリーンエネルギーを導入できた。 【今後の改善の方向性】 今後も引き続き、公共施設の建設があれば、クリーンエネルギーの導入を推奨する。	総務課 教育委員会 公共施設情報の共有	②継続
	活動指標	公共施設を整備する際にクリーンエネルギーの導入を推奨する	1件 (五ヶ所公民館)	1件					
太陽光発電助成、普及促進のための啓発	成果指標	住宅用太陽光システム補助金交付申請	8件	4件	480	240	【当年度の事業成果】 今のところ、補助金交付申請件数としては、少ないが、電話での問い合わせは10件ほどあった。 【今後の改善の方向性】 環境への負荷が少ない太陽光エネルギーの導入を促進し、地球温暖化の防止および環境の保全を図るために補助金の啓発を続ける。	関係各課 町税等の滞納がないか確認	②継続
	活動指標	ホームページ、広報啓発回数	2回	2回					
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
	成果指標								未選択
	活動指標								
				合計	5,233	8,981			